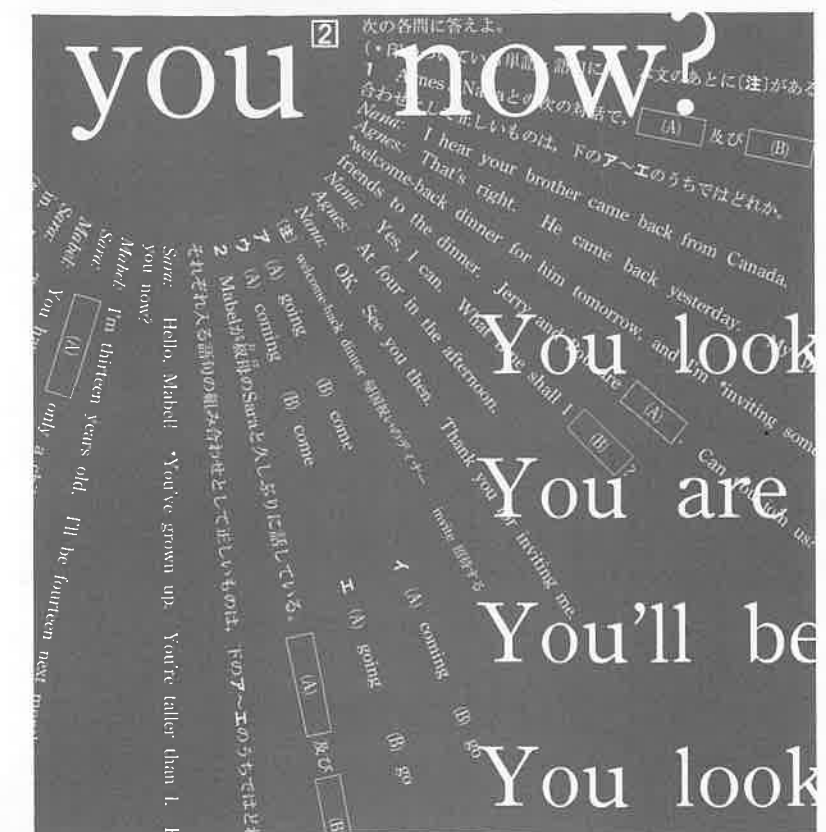


都立版

解答解説【英語】



1 記号等で解答する問題について

- (1) 記号、符号、番号等で解答する問題の場合、○や()などの有無は可。 ① → 1、(A) → A など○
- (2) 英字の大文字の記号を小文字で解答しているもの、カタカナの記号をひらがなで解答しているものなどは不可。ただし、英字の書体の違いは可。
- (3) 複数の記号を選択して解答する問題の場合、指定以上の数の記号を書いているものは不可。
- (4) 記号ではなく、選択肢の内容で解答しているものは不可。また、記号と選択肢の内容を併記しているものも不可。

2 語句、用語で解答する問題について

- (1) 設問に特別の指定がない限り、漢字、ひらがな、カタカナ及びその混用のいずれも可。
- (2) 表記に誤りがあるものは不可。
- (3) 複数の解答が記入してあるものは不可。
- (4) 漢字とひらがなが併記してある場合、どちらかに明らかな誤りがあるものは不可。

3 アルファベットの表記について

- (1) 大文字・小文字の誤りは不可。
- (2) スペルミスは不可。(ただし、i・j の点の欠けは許容する。)
- (3) アポストロフィがないものは不可。
・ isn't → isnt Nancy's pen → Nancys pen ×
- (4) 1語を2語に分けて書いているもの、2語を1語にまとめて書いているものは不可。
・ notebook → note book ×
・ every day(副詞) → everyday ×

4 適語(英単語)補充について

- (1) 代名詞を固有名詞で答えているものは場合により許容する。
・ Yes, he is. → Yes, Bob is. など○

5 数字の記述

- (1) 綴り指定の場合は算用数字は不可。指定がなければ算用数字でも可。

第1回
(9月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

- ① 【問題A】 <対話文1> ウ <対話文2> エ <対話文3> イ
 【問題B】 <Question 1> ア <Question 2> [例] They will go there this[on, next] Sunday.
- ② 1 イ 2 ウ 3(1) ウ
 3(2) [例] I have been to a zoo in Kanagawa with my family many times. The zoo is one of the most popular zoos in Kanagawa. We can see some animals only in this zoo in Japan. (3文)
- ③ [問1] エ [問2] イ [問3] ウ [問4] エ [問5] エ [問6] イ [問7] イ
- ④ [問1] ウ [問2] ア→ウ→エ→イ (完答) [問3] (1) ウ (2) イ (3) エ
 [問4] (1) エ (2) ウ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| ・大文字と小文字の誤り | 1か所につき1点減点 | ・綴りの誤り | 1か所につき1点減点 |
| ・文法事項等の誤り | 1か所につき1点減点 | ・ピリオド等符号の誤り | 1か所につき1点減点 |

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。When will ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

- ② 1 (A) Iの待ち時間一覧参照。空所にはスーパーレディ・ザ・ライドの待ち時間が入るから、「100(分)」。(B) Iの待ち時間一覧参照。空所を含む言葉を聞いたメイカ(Meika)が「…私たちは他の乗り物の前にそれに乗ることができるわ」と話していることから、最も待ち時間が短い「ベティの公園」が入る。
- 2 (A) II-1とII-2のメニュー表参照。メイカは「チーズバーガーとチキンバーガー各1つ(それぞれにピクルス追加)、アップルパイ1つ、コーラ1つ」を頼もうとしているとわかるから、合計金額は「1,600円」。ピクルス追加はハンバーガー1つにつき+100円であることに注意。(B) 2つ前と1つ前のシンディ(Cindy)の発言から、シンディは「ハンバーガー1つだけ」を頼もうとしているとわかる。II-1のメニュー表参照。ハンバーガー1つの値段は「300円」だから、「実は…昼食用に300円しか持っていないの」に。
- 3 (1) ウ Eメールの本文第2段落から、「carnivalは遊園地の一種で、アメリカの人びとに愛されている」が合っている。carnivalは「カーニバル」と読み、ふつう「移動遊園地」と訳される。
- (2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2021年度の入試形式

「2021年度都立高等学校入学選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま、私(=メイカ)はあなた(=シンディ)の質問に答えるね」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=シンディ)の質問」とは、本文3ページのシンディがメイカに送ったEメールの本文第3段落に書かれている「あなたは自分の家族とどこに何回も行ったことがありますか」という質問。I have been ~ with my family many times.で書き始めると書きやすい。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「シンディに伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

- ・ケース1「シンディに伝えたい内容を一つも取り上げていない」
- ・ケース2「シンディに伝えたい内容を複数取り上げている」
- ・ケース3「それを取り上げた理由が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

- ・1文しかない場合…8点減点。
- ・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分を、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しよう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

- ③ [問1] 下線部は、直前のチカ(Chika)の「…あなたはオーストラリアの学校で生徒会に入っていたんだよね」という問いにアレックス(Alex)が「うん」と答えたもの。
- [問2] 下線部は、直前のアレックスの「…それ(=スマートフォンの問題)は家庭の問題だと思う」という発言を聞いたコウジ(Koji)が「それは学校の問題でもある」と述べたもの。従って、「スマートフォンの問題は家庭と学校で起こる」と書き表せる。
- [問3] 下線部は、直前のアレックスの「でも、僕はまだ、親たちはスマートフォンの使い方を適切に自分の子どもたちに教えるべきだと思っているよ」という発言にリエ(Rie)が同意したもの。従って、アレックスの発言内容に近いものを選ぶ。
- [問4] 下線部は、直前のアレックスの「もしあなたが自身でルールに従えないなら、親たちがあなたたちにそれに従うように言うことができる」という発言を聞いたコウジが「それはいいね」と述べたもの。従って、「コウジはルールについて親に話すことは、生徒たちにとって良いことだと思っている」という意味の文に。It ~ for ~ to ~ (～することは…にとって～だ)の文。
- [問5] 下線部中のthenは、下線部の直前でチカが例として挙げた状況(=母親にルール違反を指摘されたとき)を指すから、「スマートフォンを使う時間に関する母親の言葉を聞いたら、息子は気分がよくないだろう」という意味の文に。
- [問6] コウジの3番目の発言から、「スマートフォンを手に入れたあと、生徒の約30%が、睡眠時間が減った(←より少なく眠るようになった)」ということを示している」という意味の文に。
- [問7] (A) 1つ目の空所を含む文に注目。アレックスの最後から3番目の発言とコウジの最後から2番目の発言より、「もし親たちがそれ(=時間のルール)を知ったら、生徒たちはそれにもっと上手に従うことができる」という意味の文に。betterはwellの比較級。moreはmany, muchの比較級。(B) チカの最後から2番目の発言より、「それ(=時間のルール)に関する自分たちの親の言葉を聞きたくないから、生徒の何人かは『いやだ』と言うかもしれない」という意味の文に。接続詞のsoとbecauseの用法に注意。

④ [問1] 下線部は、直前のコウイチ(Koichi)の「それ(=ケビン[Kevin]のまんが)がいま、生徒たちの間で人気があるんだ」という発言を聞いたマリカ(Marika)の気持ちを表す文。

[問2] アは「ケビンは、昼食時に放送部についてマリカに尋ねた(本文第2段落)」、イは「ケビンはカナダに帰った(第6段落)」、ウは「マリカはケビンのまんがを初めて読んだ(第4段落)」、エは「マリカとコウイチは、ケビンにインタビューした(第5段落)」だから、アウエイの順。

[問3] (1) 本文第3段落から、「ケビンがマリカに彼女は親切で英語を上手に話すと言ったから、マリカはもっと英語を話したいと思った」に。(2) 本文第4段落から、「マリカに自分のまんがを見せたとき、ケビンは彼女とそれを日本語に翻訳したいと思った」に。(3) 本文第6段落から、「マリカとコウイチがケビンを空港で見送ったとき、ケビンはマリカとコウイチに自分の夢について話した」に。

[問4] (1) 「ケビンが最初に放送部についてマリカに尋ねたとき、彼女は何をしましたか」に答える。本文第2段落から、「彼女は、翌日に彼の質問に答えると彼に言いました」。(2) 「なぜマリカはケビンに電話したのですか」に答える。本文第7段落から、「彼女は、テレビリポーターとして彼にインタビューしたかったからです」。

全訳

1

【問題A】

<対話文1>

リュウジ： もしもし、メアリー。こちらはリュウジです。君は昨日と今日、学校に来なかったよね？どうしたの？

メアリー： こんにちは、リュウジ。昨日は具合が悪くて寝ていたの。今日のほうが気分は良いけど、母が家にいるべきだと言ったの。

リュウジ： なるほど。明日は学校に来れる？

メアリー： ええ。行けると思うわ。

リュウジ： 僕はそれを聞いてうれしいよ。僕たちの英語の先生が今日、僕たちに宿題を出したんだ。明日、学校でそれについて君に話すよ。

メアリー： まあ、ありがとう。

質問：リュウジは明日、メアリーに学校で何について話すつもりですか。

<対話文2>

アリス： カイト、あなたは今日の午後、何をするつもりなの？

カイト： 僕は図書館に行くつもりだよ。僕はそこで子ども用の日本の昔話が載っている本を探すつもりだよ。図書館を訪れたあと、僕は帰宅して、映画を見るんだ。

アリス： あら、あなたは図書館に行くつもりなの？私もそこに行くつもりよ。私は科学の本を何冊か借りたいの。あなたと一緒に行ってもいい？

カイト： もちろん。アリス、その前に、図書館の近くのレストランで昼食をとらない？

アリス： いいわよ。

質問：アリスとカイトは今日の午後、最初にどこに行くつもりですか。

<対話文3>

ジョニー： エミ、ジェーンの歓迎パーティーはとても楽しかったね。

エミ： ええ、ジョニー。

ジョニー： 君はとても上手にギターを演奏したね。

エミ： ありがとう。私は彼女が楽しそうでうれしかったわ。あなたはとても上手にダンスをしたわね、ジョニー。私はわくわくしたわ！

ジョニー： ありがとう。僕はダンスをするのが好きで、毎日、放課後にそれを練習しているんだ。君はカズヤのケーキが気に入った？

エミ： ええ、それはおいしかったわ。私はサラの夕食もとても気に入ったわ。

ジョニー： 僕もだよ。

質問：エミはジェーンの歓迎パーティーで何をしましたか。

【問題B】

いいですか、皆さん。あなたたちは月曜日に、私たちの次の英語の授業で、あなたたちの大好きな動物について英語で話します。その前に、私たちと鈴木先生が今度の金曜日に、電車で動物園に行きます。その日が雨なら、私たちは今度の日曜日に、そこに行きます。8時20分までにグリーン駅に来てください。電車は8時40分に出ます。あなたたちは私の電話番号と鈴木先生のを知っていますよね？もし来られなかったり、遅れるようなら、私か鈴木先生に電話してください。何か質問がありますか。ないですか。わかりました。もしあとで何か質問があれば、金曜日までに私か鈴木先生に質問してください。今日はこれまで。では。すてきな1日を！

質問1：生徒たちは何時にグリーン駅にいるべきですか。

質問2：今度の金曜日が雨なら、先生と生徒たちはいつ動物園に行く予定でしょうか。

2

1

メイカ： ここは大きな遊園地ね！

シンディ： ええ、そうね。私はとてもわくわくしているわ！私たちは最初にどの乗り物に乗ってみましょうか。

メイカ： そうね、私はスーパー・レディ・ザ・ライドに乗ってみたいわ。

シンディ： いいわね。ああ、あれを見て。私たちはそれぞれの乗り物の待ち時間を見ることができるわ。

メイカ： えっ、まさか！私たちはスーパー・レディ・ザ・ライドに乗るのに100分待たなくてはならないわ！

シンディ： じゃ、ゴースト・タワーはどうかしら？

メイカ： 実は、私は幽霊が好きではないのよ。

シンディ： えっ、本当？それなら、ベティズ・パークに乗ってみるのはどう？

メイカ： それは良い考えね。私たちは他のどの乗り物よりも前にそれに乗ることができるわ。最初にそれに乗りましょう。

シンディ： わかったわ。でもその前に、私たちはスーパー・レディ・ザ・ライドの整理券を手に入れなければならないわ。

メイカ： あなたの言う通りね。

2

メイカ： まあ！たくさんのタイプのハンバーガーがあるわね。私はとてもおなかすいたわ。私はチーズバーガーとチキンバーガーが食べたいわ。

シンディ： サイドと飲み物はどう？

メイカ： 私はアップルパイとコーラにするわ。あつ、私はチーズバーガーとチキンバーガーにピクルスも加えたいわ。

シンディ： じゃあ、あなたはそれらに1,600円必要よ。

メイカ： あら、私には高すぎるわ。ええと、私はアップルパイとコーラの代わりにフライドポテトとオレンジジュースにするわ。あなたは？何を食べるの？

シンディ： ええと、私はハンバーガーを食べるわ。

メイカ： おや、魚が好きだから、あなたはフィッシュバーガーをほしがると私は思ったわ。あなたはどのサイドと飲み物がほしいの？

シンディ： 私はサイドや飲み物はいらないわ。

メイカ： 本当に？私は、あなたはもっと食べるべきだと思うわ。

シンディ： 実は、遊園地でたくさんの物を買すぎたので、昼食用に 300 円しか持っていないの。

メイカ： わかったわ。一緒にフライドポテトを食べない？

シンディ： まあ、ありがとう。

メイカ： どういたしまして。

3

(1)

メイカへ、

私の日本滞在中に助けてくれてどうもありがとう。私は日本での特別な思い出がたくさんあります。そのうちのひとつはあなたと一緒にいちよう遊園地に行ったことです。私たちはそこで一緒にフライドポテトを食べました。あなたはとても親切な女の子です！また日本に行ったときには、私はあなたと一緒にその遊園地に行きたいです。

アメリカ合衆国には、移動遊園地があります。あなたはそれを知っていますか。移動遊園地は遊園地の一種です。それはあちこちへ移動します。それが小さいとあなたは思うかもしれませんが、大きくてそこには乗り物がたくさんあります！アメリカ合衆国の人びとは移動遊園地がとても好きです。もしアメリカ合衆国に来たら、あなたは移動遊園地に行くべきです。私は家族と一緒に何回も移動遊園地に行ったことがあります。

あなたは自分の家族と一緒にどこに何回も行ったことがありますか。それについて私に話してください。

すぐに私に E メールを書いてください。

あなたの友だち、
シンディ

(2)

シンディへ、

E メールを送ってくれてありがとう。私もあなたとの特別な思い出がたくさんあります。私は移動遊園地については知りませんでした。移動遊園地に行くことはおもしろそうです。私は一つに行きたいです！

いま、私はあなたの質問に答えます。

私は、あなたが再び日本に来たときに、私たちがそこを訪れることを願っています。

メイカより

3

リエとコウジ、チカは高校生で、生徒会に入っています。アレックスはオーストラリア出身の高校生で、3 週間前に彼らの学校に来ました。彼らは昼食後に、教室で話しています。

リエ： きょうは、私たちはいつもの会合がないわね。

コウジ： その通りだね。僕たちは放課後、より早く家に帰ることができるね。

チカ： ところで、アレックス、あなたはオーストラリアの学校で生徒会に入っていたわよね。

アレックス： うん、入っていたよ。僕はオーストラリアの学校で、生徒たちのために多くのことをしていたよ。君たちの生徒会はいま、何をしているの？

リエ： 私たちはいま、スマートフォンの問題に取り組んでいるの。

アレックス： スマートフォンの問題？

リエ： ええ。私たちの学校では、スマートフォンの難しい問題を抱えているの。

アレックス： オーストラリアにいたときに、僕は学校でスマートフォンの問題については話さなかったよ。それらについて僕に話してくれない？

コウジ： いいよ。先月、僕たちは自分たちの学校でスマートフォンの使用の調査をしたんだ。

アレックス： 君たちにはその調査の結果はあるの？

チカ： ええ、あるわ。私たちの学校の生徒の 70 パーセント以上が毎日、3 時間以上スマートフォンを使っているの。多くの生徒が夜、お互いにメッセージを送るのが好きで、それをするのをやめることができないの。

アレックス： なるほど。でも僕は、それは家庭の問題だと思うな。

コウジ： それは学校の問題でもあるよ。スマートフォンを手に入れたあと、生徒の約 20 パーセントが家でより勉強しなくなっているんだ。そして、生徒の約 30 パーセントがより眠らなくなっているんだ。彼らはまた十分に眠らないので、翌日の授業中に疲れを感じるんだ。

アレックス： まあ、それは確かに学校の問題でもあるね。でも、僕はまだ、親たちが子どもたちに適切にスマートフォンの使い方を教えるべきだと思っているよ。

リエ： 私もそう思うわ。でも、それぞれの家庭で子どもたちのスマートフォンの使い方についていろいろな考えがあるわ。だから私たちは、生徒全員がそれについて考えるべきだと思うの。私たちはまた、生徒会が彼らに意見を分かち合う機会を与えるべきだとも思うわ。私たちは、自分たちが生徒全員と一緒にルールを作ることができることを願っているわ。たとえば、「8時以降はメッセージを送ってはいけない」というようなルールを作ることができることを願っているの。

アレックス： それはいいね。君たちはどうやってそのようなルールを作るつもりなの？

チカ： 最初に、私たちは各クラスでその問題について話すつもりなの。それから、すべてのクラスがお互いにそれらの意見を分かち合うの。生徒一人一人が、メッセージを送るのをやめる時間について投票するの。それから、私たちはその時間を決めるの。

アレックス： それは良い考えだね。さて、それについて君たちの親たちに手紙を書くのはどう？

リエ： あら、どうして？

アレックス： 僕は、どの生徒もその時間について彼らに話すべきだと思うからだよ。もし自分たちでそのルールに従うことができないなら、親たちが君たちにそれに従うように言うことができるよ。

コウジ： それはいいね。親たちはそのルールを知るべきだね。

チカ： 私もそう思うわ。でも私はまた、中にはそれについて親たちの言葉を聞きたくないので、そのルールに反対する生徒もいると思うわ。たとえば、ある母親が息子に「もう8時を過ぎているわよ。スマートフォンを使うのをやめなさい。あなたはルールに従わなければならないわよ」と言うかもしれないわ。そのとき、彼は気分がよくないでしょう。

アレックス： もちろん、親たちにそのようなことを言ってほしくないと思う生徒もいるけど、それは家庭の問題でもあるので、親たちの助けを得ることは必要だよ。

コウジ： その通りだね。もし親たちの助けを得れば、僕たちはよりルールに従うことができるよ。

リエ： 次の会合でアレックスの考えについて話してみてもどうかしら？

コウジ： 僕は同意するよ。

チカ： いいわ。それについて話しましょう。

アレックス： それは良かった。僕は、自分たちの学校がより良くなることを願っているよ！

4

マリカは高校生です。9月のある日、新しい生徒がマリカのクラスにきました。彼の名前はケビンでした。マリカの担任の先生は生徒たちに「いいかい、みんな。こちらはカナダから来たケビンです。彼は来年8月まで、この学校で君たちと勉強する予定です。彼は日本の文化、特に日本のまんがに興味があります。彼と大いに話してください」と言いました。

その日の昼食時に、ケビンはマリカに「僕は、多くの日本の生徒が部活動を楽しんでいると聞いたよ。君は何部に入っているの？」と言いました。マリカは「私は放送部に入っているわ」と言いました。彼は「ほうそうぶ？僕はその日本語を知らないな。それはどういう意味なの？」と言いました。彼女は「放送部は…。悪いけど、私は英語でそれについてうまく話せないわ。明日、あなたにそれについて話すわ」と言いました。「構わないよ」とケビンは言いました。夜、マリカは英語で放送部について調べるために辞書を使いました。

翌朝、マリカはケビンに「おはよう、ケビン。あなたは昨日、私に放送部について質問したわよね。それについてあなたに話すわ」と言いました。ケビンは「おお、ありがとう、マリカ。それで、放送部って何？」と言いました。マリカは「放送はブロードキャスティングを意味し、部はクラブを意味するの。だから放送部はブロードキャスティング・クラブを意味するの」と言いました。ケビンは「そうなの？どうかそれについて僕にもっと話して」と言いました。マリカは「その部には11人の生徒がいるの。私たちは学校の放送設備で昼食時に音楽を流したり、ニュースを読んだりするの」と答えました。ケビンは「なるほど。君は親切で、英語を上手に話すね！」と言いました。ケビンの言葉はマリカをうれしくしました。彼女は「私はもっと英語を話したい」と思いました。

ある日、ケビンがマリカに「マリカ、僕はまんがを作ったんだ。どうかそれを読んでね」と言いました。マリカは「あなた

はまんがを作ったの？もちろん！私はそれを読むわ」と言いました。彼女は彼のまんがを読みました。それはたくさんの絵があり、英語で書かれていました。それを読み終えたとき、彼女は「それはとてもおもしろいわ。私はそれをとても気に入ったわ」と言いました。すると、彼は「ありがとう。実は、僕はそれを日本語に翻訳したいんだ。僕は、大勢の生徒が僕のまんがを読むことを願っているんだ。僕を手伝ってくれない？」と言いました。彼女は「いいわよ！手伝うわ」と言いました。彼のまんがを日本語に翻訳することは彼らにとって簡単ではありませんでしたが、彼らはそれを数週間後に終えました。彼らは彼のまんがを学校の図書室に置きました。多くの生徒がそれを楽しんで読みました。

1週間後、マリカの友だちの一人であるコウイチがマリカの所にやって来ました。コウイチも放送部に入っていました。彼は「君とケビンは図書室にケビンのまんがを置いたよね？それがいま、僕たち生徒の間で人気があるんだ」と言いました。マリカは「私はそれを聞いてうれしいわ」と言いました。彼は「僕は、多くの生徒がケビンのまんがや彼の日本での生活について知りたがっていると聞いたことがあるよ。君はよく彼と英語で話すよね。僕と一緒にレポーターとして彼にいくつか質問してくれない？」と言いました。マリカは「いいわよ。そのことについて彼に質問するわ」と言いました。数日後、マリカとコウイチはケビンに英語でいくつか質問し、ケビンは答えました。生徒たちは学校の放送設備でそれらを聞き、ケビンのまんがや彼の日本での生活について知りました。

翌年の8月に、マリカとコウイチはケビンを見送るために空港に行きました。ケビンは彼らに「マリカ、コウイチ、君たちの手助けをありがとう。僕はカナダでまんがを作り続けるよ。僕は将来、日本で多くの人に僕のまんがを読んでほしいんだ」と言いました。コウイチはケビンに「君にはすてきな夢があるんだね。僕は、君の夢が実現することを願っているよ」と言いました。マリカはケビンに「私は将来、テレビレポーターとしてテレビ局で働きたいの。あなたが有名なまんが家で私がテレビレポーターになったら、あなたにインタビューしてもいい？」と言いました。ケビンは「ありがとう、コウイチ。そして、もちろん、いいよ、マリカ！僕は有名なまんが家になるから、どうぞテレビレポーターとして僕に会いに来てね！」と答えました。

9年後、マリカはケビンに電話して、「こんにちは、ケビン。おめでとう！あなたは日本のまんがコンテストで賞を取ったのね」と言いました。ケビンは「ありがとう。君はどうやってそのことを知ったの？」と言いました。彼女は「あなたは、コウイチと私は同じテレビ局で働いていることを知っているわよね。私は彼からその知らせを聞いたの」と言いました。彼は「ああ、なるほどね」と言いました。彼女は「私はあなたに話すことがあるの、ケビン。私は来月、テレビレポーターとしてあなたにインタビューするためにカナダを訪れたいの。いい？」と言いました。彼は驚いて、「本当？それはすごい！」と言いました。彼女は「ありがとう。あなたは有名なまんが家で、私があなたにテレビレポーターとしてインタビューするの。私たちの夢がもうすぐ実現するのね！」と言いました。

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを6語の英語で、略語を使わずに書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Ryuji: Hello, Mary. This is Ryuji. You didn't come to school yesterday and today, right? What happened?

Mary: Hi, Ryuji. I was sick in bed yesterday. Today I'm better, but my mother said I should stay home.

Ryuji: I see. Can you come to school tomorrow?

Mary: Yes. I think I can.

Ryuji: I'm happy to hear that. Our English teacher gave us homework today. I'll tell you about it at school tomorrow.

Mary: Oh, thank you. (3秒の間)

Question: What will Ryuji tell Mary about at school tomorrow?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Alice: Kaito, what are you going to do this afternoon?

Kaito: I'm going to go to the library. I'll look for books with old Japanese stories for children there. After visiting the library, I'll come home and watch a movie.

Alice: Oh, are you going to go to the library? I'm going to go there, too. I'd like to borrow some science books. Can I go with you?

Kaito: Of course. Alice, why don't we have lunch at a restaurant near the library before that?

Alice: OK. (3秒の間)

Question: Where will Alice and Kaito go this afternoon first?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Johnny: Emi, the welcome party for Jane was a lot of fun.

Emi: Yes, Johnny.

Johnny: You played the guitar very well.

Emi: Thank you. I was glad that she looked happy. You danced very well, Johnny. I felt excited!

Johnny: Thank you. I like dancing, and I practice it after school every day. Did you like Kazuya's cake?

Emi: Yes, it was delicious. I liked Sarah's dinner very much, too.

Johnny: Me, too. (3秒の間)

Question: What did Emi do at the welcome party for Jane?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、英語の先生が、授業の終わりに生徒におこなっている説明です。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを6語の英語で、略語を使わずに書きなさい。

なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

OK, everyone. You will talk about your favorite animal in English in our next English class on Monday. Before that, we and Mr. Suzuki will go to the zoo by train this Friday. If it is rainy that day, we will go there this Sunday. Please come to Green Station by eight twenty. The train will leave at eight forty. You know my phone number and Mr. Suzuki's, right? If you can't come or you're going to be late, call me or Mr. Suzuki. Do you have any questions? No? OK. If you have any questions later, please ask me or Mr. Suzuki by Friday. That's all for today. See you. Have a nice day! (3秒の間)

Question 1: What time should the students be at Green Station? (5秒の間)

Question 2: When will the teachers and the students go to the zoo if it is rainy this Friday? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第2回
(10月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> エ <対話文2> イ <対話文3> ウ

【問題B】 <Question 1> ア

<Question 2> 【例】 It is usually open[opened] from Monday to Friday.

② 1 イ 2 ウ 3(1) イ

3(2) 【例】 I enjoy visiting my grandfather's house on the weekend. He lives alone near my house. He is always kind to me, and he teaches me many things when I visit him. (3文)

③ 【問1】 ウ 【問2】 エ 【問3】 イ 【問4】 エ 【問5】 ウ 【問6】 イ 【問7】 ウ

④ 【問1】 ア 【問2】 エ→ア→ウ→イ (完答) 【問3】 (1) ウ (2) エ (3) ウ

【問4】 (1) エ (2) イ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。When is ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) I のポスター参照。空所に続けてリアム(Liam)は、「僕はいちばん長いコースを走りたい」と説明しているから、「コースA」が入る。(B) I のポスター参照。コースBの参加料は2,000円だが、ポスターの中にある表の下の部分に「13歳から18歳は1,500円」とある。

2 (A) II-1の走者への案内参照。「あなたの写真」の説明の中に「2週間後にそれら(=写真)を受け取るでしょう」とあるから、12月5日に撮られた写真を受け取ることができるのは、「早くても12月19日」。(B) 一つ前のシンゴ(Shingo)の発言から、シンゴは「新しいランニングシューズ」を買いたがっているのがわかる。また、直後のリアムの発言から、リアムは「ラケット」をほしがっているのがわかる。II-2の一覧参照。「ランニングシューズ」と「ラケット」が購入できるのは、ランニングとテニスの品物を扱っている「エディーズ」。

3 (1) イ Eメールの本文第1段落の内容から、「リアムは、つぐみシティマラソンで走っている写真(←つぐみシティマラソンでのランニングの写真)でシンゴと一緒に笑っている」が合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2021年度の入試形式

「2021年度都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま、僕(=シンゴ)はあなた(=リアム)の質問に答えるね」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=リアム)の質問」とは、本文3ページのリアムがシンゴに送ったEメールの本文第3段落に書かれている「あなたは週末に何をするのが楽しいですか」という質問。I

enjoy ~で書き始めると、書きやすい。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「リアムに伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

・ケース1「リアムに伝えたい内容を一つも取り上げていない」

・ケース2「リアムに伝えたい内容を複数取り上げている」

・ケース3「それを取り上げた理由が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

・1文しかない場合…8点減点。

・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった〈表記及び文法等〉に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表す because について、「理由」の部分、主節の文とは独立させて Because で書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 下線部は、「僕たちはそのとき、これらの写真を撮ったんだ」という意味。ここまでの内容から、下線部中の「そのとき」とは、「ダイキ(Daiki)とユウト(Yuto)がヤマモトさん(Mr. Yamamoto)の家を訪問したとき」を指す。

【問2】 下線部は、直前のダイキの「…僕たちは、英語でカードを書く方法を彼に教えてあげたんだ」という発言を聞いたミコ(Miko)が、「あなたたちはどうやってそれをしたの?」と尋ねたもの。

【問3】 全訳参照。下線部は「僕たちは来週の日曜日にもう一度、彼を訪問する予定だよ」という意味で、訪問の理由は直前の1文に書かれている。

【問4】 下線部は、直前のミコの「私たちの町の人たちについて学ぶことは、私たちの地域社会について学ぶことだと思う」という発言に対して、ダイキが同意したもの。従って、ミコの発言内容に合うものを選ぶ。

【問5】 下線部は、直前のユウトの「『community』と『communication』という2つの言葉の両方に『com-』という接頭辞があるね。この『com-』は『一緒に』という意味だよ」という発言を聞いたスージー(Susie)が「その通り」と述べたもの。従って、ユウトの発言内容に合うものを選ぶ。

【問6】 ミコの3番目の発言から、「ミコは、小さいすのこに乗って電球をかえるのは、お年寄りにとって簡単ではないと思っています」という意味の文に。

【問7】 (A) 2つ目の空所を含む文に注目。ミコの最後から2番目の発言より、「地域社会」が当てはまる。

(B) ここのミコの最後から2番目の発言より、「…私たちはそれをするために、コミュニケーションが必要…」という意味の文に。

④ 【問1】 下線部は、直前のアリシア(Alicia)の「化石を見つけるのは私たちにとって簡単だろうと思っていたけど、私は間違っていた!」という発言を聞いたホノカ(Honoka)が「同感」と述べたもの。従って、アリシアの発言内容に合うものを選ぶ。

【問2】 アは「ホノカは、タケイ先生(Mr. Takei)の祖父とタケイ先生に関するタケイ先生の話聞いた(本文第3段

落)」、イは「ホノカは、アリシアと市立博物館に行った(第6段落)」、ウは「ホノカは、二枚貝の化石を見つけた(第4段落)」、エは「ホノカは、山に着いた(第2段落)」だから、**エアウイ**の順。

〔問3〕(1) 本文第2段落から、「ホノカと残りの8人の部の生徒が山に行ったとき、タケイ先生は彼女たちに、山で化石を見つける方法を話しました」という意味の文に。(2) 本文第3段落から、「タケイ先生が9歳のとき、彼の祖父は化石を見るために彼を博物館に連れて行きました」という意味の文に。(3) 本文第4段落から、「自分の化石の年齢についてのタケイ先生の言葉を聞いたとき、ホノカは驚きました」という意味の文に。

〔問4〕(1) 「タケイ先生は、化石を見つける方法について生徒たちに何と言いましたか」に答える。本文第2段落から、「彼は、もし石の中に化石のようなものを見つけたら、自分にその石を見せるべきだと言いました」。(2) 「ホノカは、市立博物館で化石について何を学びましたか」に答える。本文第6段落から、「彼女は、何種類の化石は宝飾品として使われるということを学びました」。

全 訳

1

〔問題A〕

<対話文1>

ツヨシ： キャシー、僕は君がバスケットボール部に入っていると聞いたよ。

キャシー： ええ、ツヨシ。でも、私は今は上手にプレーできないので、毎週日曜日に、姉と練習しているの。

ツヨシ： へえ、君のお姉さんはバスケットボールを上手にするの？

キャシー： ええ。私の父と兄、彼女はバスケットボールを上手にすることができて、彼女が私の家族の中でいちばん上手なバスケットボールのプレーヤーなの。

ツヨシ： なるほど。ええと、僕もバスケットボールをするのが好きだよ。今週の土曜日にしようよ。

キャシー： いいわよ。

質問：だれがキャシーの家族の中で、いちばん上手にバスケットボールをすることができますか。

<対話文2>

アン： あなたは昨夜、何をしたの、マイク？

マイク：僕はテレビでサッカーの試合を見たよ。君はどうなの、アン？

アン： 母と夕食を料理したあと、私は数学の宿題をしたわ。

マイク： 数学の宿題は簡単だった？

アン： いいえ。それはとても難しかったので、兄が私を手伝ってくれたの。

マイク： そうだったの？彼はとても親切だったね。

アン： ええ。彼はいつも私に親切なの。私は彼がとても好きよ。

質問：アンは昨夜、何をしましたか。

<対話文3>

ザック： ヒトミ、明日、動物園に行くために、どこでいつ会おうか？

ヒトミ： 午前9時に駅で会いましょう、ザック。私はあなたと自分のために昼食を持って行くわ。

ザック： えっ、本当に？それはすごい！ありがとう。

ヒトミ： どういたしまして。私は料理をするのが好きなの。

ザック： 君は僕のために昼食を作るつもりなの？

ヒトミ： ええ、そうよ。私は明日、晴れることを願っているわ。

ザック： 僕もだよ。

質問：ザックとヒトミは明日、どこで会う予定ですか。

〔問題B〕

私たちの学校の図書室に来てくれてありがとう、ユカ。今回が初めてですよ？私はこの図書室についていくつかの重要なことを話します。

最初に、この大きなテーブルの上のコンピュータを見てください。何冊か本を探したいとき、あなたはそのコンピュータを使うことができます。2番目に、あなたは本を借りるために図書カードを作らなければなりません。本を借りたいときは、あの机のところにいる人に図書カードを見せてください。3番目に、あなたは2週間、本を借りることができます。まだそれらが必要なら、あなたはそのあともう1週間、それらを借りていることができます。最後に、この図書室は通常月曜日から金曜日まで開いていますが、清掃のために今度の水曜日の午後は閉室となります。そうそう、この図書室に入るとき、自分の学生証を忘れてはいけません。

質問1：図書室で何冊か本を探すときに、ユカは何を使うことができますか。

質問2：図書室は通常いつ開いていますか。

2

1

リアム： 僕とつぐみ市マラソン大会に参加してくれない、シンゴ？

シンゴ： いいよ。君はどのコースを走りたい？

リアム： コースAだよ。僕はいちばん長いコースを走りたいんだ。

シンゴ： ええと、僕は、20キロの距離は自分にとって長すぎると思うんだ。

リアム： えっ、本当に？じゃあ、コースBを走ろう。

シンゴ： それは10キロのレースだよ。いいよ。

リアム： よかった。僕たちそれぞれは参加料として2,000円必要だね。

シンゴ： いや。ここを見て。僕たちは16歳なので、僕たちそれぞれは参加料として1,500円払う必要があるよ。

リアム： ああ、君の言う通りだ。

2

シンゴ： 僕はとても疲れたよ！僕は、そのコースは自分にとっては少し長いと思ったけど、走ることができたよ！

リアム： 君と一緒に走ることができたので、僕はとてもうれしいよ。

シンゴ： 僕もだよ。あっ、見て。僕たちは豚汁かアイスクリームを無料でもらえるよ。君はどっちを選ぶつもり？

リアム： 僕は豚汁にするつもりだよ。君はどう？

シンゴ： 僕はいま、暑く感じるの、アイスクリームにするつもりだよ。

リアム： おや、シンゴ！僕たちはマラソン大会で走っている写真ももらうことができるよ。僕は、アメリカ合衆国にいる家族に送るために何枚かほしいな。

シンゴ： ええと、今日は12月5日だから、君は最短で12月19日にその写真を受け取ることができるよ。君は12月16日に日本を離れる予定だよ。

リアム： えっ、まさか！君の言う通りだね。僕は日本で自分の写真をもらうことができないよ。

シンゴ： 僕が君の代わりにそれらをもらって、アメリカ合衆国の君の家にそれらを送ってあげるよ。

リアム： 本当？どうもありがとう。

シンゴ： どういたしまして。ところで、僕は新しいランニングシューズを買うためにスポーツ店に行きたいんだ。

リアム： そうなの？君はどの店に行きたいの？

シンゴ： 僕は、エディーズにはたくさんの良いランニングシューズがあると聞いたので、そこに行きたいんだ。

リアム： じゃあ、僕は君と一緒にそこに行くよ。僕は新しいラケットがほしいんだ。

シンゴ： 本当に？それなら、いますぐに行こうよ。

リアム： 待って、シンゴ。僕たちは豚汁とアイスクリームをまだ食べていないよ！

シンゴ： あっ、僕はそれについて忘れていたよ。行って、それらをもらおう！

リアム： うん、そうしよう。そしてそのあとで、写真ブースとスポーツ店に行こう。

シンゴ： わかった。

3

(1)

シンゴへ、

僕の日本滞在中に助けてくれてありがとう。君と一緒につぐみ市マラソン大会を走ったことは日本での僕の滞在のいちばんの良い思い出です。昨日、僕はマラソン大会で走っている自分の写真を君から受け取りました。僕たちはその写真の中でほほ笑んでいるので、それらはとても良いです！改めて、ありがとう。

実は、あらゆる年齢の人が僕の市では走るのが好きで、僕たちには毎年、大きなマラソン大会があります。そのマラソン大会の催しはアメリカ合衆国ではとても有名で、たくさんの人がそのマラソン大会を走るためにやって来ます。今年は、約45,000人がそのマラソン大会を走りました。その催しでは、車椅子に乗った多くの人も私たちと一緒にマラソンをします。僕は毎年このマラソン大会を走って、それを楽しんでいます。

いま、僕は君に質問したいです。君は週末に、何をして楽しんでいますか。 それについて僕に話してください。

すぐ僕に返事を書いてください。

(2)

リアムへ、

E メールをありがとう。君と一緒につぐみ市マラソン大会を走ったことは僕にとっても特別な思い出です。君の市のマラソン大会に45,000人の人がいたと書いてありました。それはすごいですね！僕は君の市のマラソン大会で走りたいです。

いま、僕は君の質問に答えます。

僕たちが連絡を取り合うことを、僕は願っています。

君の友だち、

シンゴ

3

ユウトとミコ、ダイキは東京の高校生です。スージーはカナダ出身の高校生です。彼らは昼食後に、教室で話しています。

ユウト： やあ、みんな。これらの写真を見て。

ミコ： こんにちは、ユウト。わあ！それらはすてきな写真ね。あなたとダイキが年配の男性とほほ笑んでいるわ。

スージー： この年配の男性はだれ？

ダイキ： ヤマモトさんだよ。先月、僕たちのクラスの生徒全員が地域社会奉仕として年配の人たちの手助けをするために、別々の場所を訪れたよね？

スージー： そうね。私はミコと一緒に老人ホームに行ったわ。

ミコ： 年配の人たちの手助けをするのは私たちにとってたいへんだったけど、私たちは彼らと一緒に楽しい時間を過ごしたわ。

ユウト： いいね。ダイキと僕はヤマモトさんの家に行って、彼の手助けをしたんだ。彼はひとりで住んでいるんだ。

ダイキ：僕たちはそのとき、これらの写真を撮ったんだ。

スージー： あなたたちみんなはその写真の中でうれしそうに見えるわ。どうかあなたたちの訪問について私にもっと話して。あなたたちは彼のために何をしたの？

ダイキ：最初に、僕たちは彼の家でLED電球をかえたんだ。彼は僕たちに「私は小さいすの上に立つことができないんだよ」と言ったんだ。

ミコ： 私は、小さいすの上で電球をかえるのは年配の人たちにとって難しいことを知っているわ。

ユウト：それから、僕たちは彼の部屋をそうじしたんだ。そのあとで、僕たちはたくさん話したよ。ヤマモトさんは僕たちに過去の自分たちの町について話してくれたんだ。彼はまた、僕たちに彼の孫たちについても話してくれたんだ。

スージー：彼の孫たち？

ダイキ： そうだよ。そのうちのひとりには中学生で、彼女の名前はマミというんだ。マミと彼女の家族はいま、イギリス

に住んでいるんだ。ヤマモトさんは「マミの誕生日がもうすぐやってくるんだ。私が英語で彼女にバースデーカードを書くのを手伝ってくれない？私は彼女を驚かせたいんだよ」と言ったんだ。それで、僕たちは英語でカードを書く方法を彼に教えてあげたんだ。

ミコ： あなたたちはどうやってそれをしたの？

ユウト： ええと、ヤマモトさんは初めて、英語でカードを書いたので、僕たちは簡単な英単語を使うようにしたんだ。それを書き終えたとき、彼はそのカードを見て本当に喜んでいたよ。

スージー： あなたたちもうれしく感じたのよね？

ダイキ： その通り。僕たちはとてもうれしかったよ。彼を訪ねる前には、僕たちは、他の人びとの手助けをすることが彼らをうれしくさせることだと思っていたんだ。でも、彼を訪ねたあとで、僕たちは他の人たちのために何かをすることは自分たちをもうれしくさせるということを学んだよ。

スージー： あなたの言う通りね。

ミコ： ところで、あなたたちはこれらの写真をヤマモトさんに送ったの？

ユウト： うん、送ったよ。すると、彼が昨日、僕に電話をかけてきたんだ。彼はマミに英語で手紙を書くつもりで、僕たちに手伝ってほしいと思っているんだ。僕たちは次の日曜日に、再び彼を訪ねる予定だよ。

ミコ： あなたたちと一緒に行ってもいい？私は彼の手助けをしたいわ。

スージー： それはいいわね。私も彼の手助けをしたいわ。

ユウト： じゃあ、僕はそれについて彼に話すよ。

ミコ： ありがとう。私たちの町の人たちについて学ぶことは、私たちの地域社会について学ぶことだと思うわ。

ダイキ： 私もそう思うよ。いま、僕は自分たちの地域社会の年配の人たちについてもっと知っているよ。

ミコ： あなたの言う通りね。私は、ひとつの地域社会の中で共に暮らすことは異なる世代の人たちにとって重要だと思うの。そうするために、コミュニケーションが必要とされるわね。

ユウト： 「コミュニティー」と「コミュニケーション」というこれらの2つの言葉の両方に「コム-」という接頭辞があるよね。この「コム-」は「一緒に」という意味だよ。

スージー： その通りよ。たとえば、「カンパニー」や「コンピネーション」の「コム-」にも同じ意味があるのよ。

ダイキ：僕は、共に暮らすために、地域社会奉仕や異なる世代の人たちとのコミュニケーションについてもっと考えるつもりだよ。

ミコ： 私もよ。そうすれば、私は自分たちの地域社会のために、すべき次のことを見つけることができるでしょうね。

4

ホノカは学校の科学部に入っている中学生です。11月のある日、タケイ先生が彼女とその部の残りの8人の生徒に「私たちは今度の土曜日に、この近くの山を訪れる予定です。そこで化石を見つけましょう」と言いました。タケイ先生は化石についてたくさん知っていて、よく地球の歴史について話します。

土曜日に、タケイ先生とホノカ、残りの8人の生徒はその山のふもとに着きました。地面に彼らのバッグを置いたあと、タケイ先生は彼らに化石を見つける方法を話しました。そこにはたくさんの岩がありました。最初に、彼は生徒たちのために岩を割り、それから「いくつかの岩を見つけて、このようにそれらを割きなさい。岩のかけらはサッカーボールより小さくするべきです。もし岩の中に化石のようなものを見つけたら、私にその岩を見せなさい」と言いました。

9時から、ホノカと他の生徒たちは岩を割り始めました。約2時間後、生徒の一人であるアリシアがホノカに「私はまだ1つも化石を見つけていないわ。あなたはどう？」と話しかけました。ホノカは「ええ、見つけていないわ」と答えました。アリシアは「私は、化石を見つけるのは私たちにとって簡単だろうと思っていたけど、間違っていたわ！」と言いました。ホノカは彼女に「同感。でも、それらを探すことは私にとって楽しいわ」と言いました。彼女たちは午前中は、1つも化石を見つけることができませんでした。12時に、タケイ先生がホノカと生徒たちに「君たちは疲れて、おなかですいたと感じているよね？昼食をとろう」と言いました。彼らが昼食をとっていたとき、ホノカがタケイ先生に「先生はなぜ化石が好きなのか」と聞きました。すると、彼は彼女に自分の話をしました。彼は「私が9歳のときのある日、祖父が化石を見るために私を

博物館に連れて行ってくれました。私は初めてそこに行きました。私は祖父に『これらの化石はどのくらい古いの？』と言いました。彼は『それらはとても古いんだ。中には100万年古いものもあれば、もっと古いものもあるんだ。化石はずっと昔の地球上の生物からの贈り物なんだよ』と答えました。私はそのときから化石に興味を持ち、日本の多くの場所でたくさんの種類の化石を見つけてきました」と言いました。彼の話を聞いたあとで、ホノカは本当に化石を見つけたいと思いました。

午後、ホノカと他の生徒たちは再び多くの岩を割り始め、約1時間、熱心に作業しました。それから、ホノカが木の近くの岩を割ったとき、その中に小さなものを見つけました。それは二枚貝のように見えました。ホノカはタケイ先生のところに走って行き、彼に「これは化石ですか」と聞きました。彼はほほ笑んで、彼女に「そうです。これは二枚貝の化石です。ええと、二枚貝は約7,000万年前に生存していました。よくやったね、ホノカ」と言いました。彼女は彼の言葉を聞いて驚きました。「先生はどうやってこの化石の年齢を知ったのですか」と彼女は聞きました。タケイ先生は「ええと、これらの山の地層がその頃に作られたので、私たちはそれがわかるんです」と答えました。そのような古い化石を見つけてとてもうれしかったので、ホノカはほほ笑みました。彼は「そしてその化石から、私たちは、その山の地層が海底にあったことがわかります」と続けました。彼女はそれ聞いて感銘を受けました。

帰る時間が来ました。化石を1つか2つ見つけた生徒もいれば、1つも見つけなかった生徒もいました。しかし、みんなは化石についてたくさん学びました。化石について勉強することは彼らに地球の歴史について教えました。帰宅途中に、ホノカは「私は化石についてもっと勉強したい」と思いました。それで、彼女はアリシアに「博物館に行かない？私はもっと多くの化石を見たいし、それらについて勉強したいの」と聞きました。アリシアは「それは良い考えね！」と答えました。

次の土曜日、ホノカとアリシアは市立博物館に行きました。その博物館にはたくさんの化石がありました。彼女たちは植物や昆虫、魚、たくさんの他のものの化石を見ました。そのような化石を見ることは彼女たちをわくわくさせました。それから、彼女たちは宝石のような化石を見つけました。彼女たちはその学芸員にそれについて聞きました。学芸員は彼女たちに「それは琥珀と呼ばれています。それは木の樹脂で作られました。どうぞ、見てください。この琥珀の中には小さな昆虫がいます。琥珀は重要な化石の一種で、宝飾品に使われている琥珀もあります。ホノカは何種類かの化石が宝石として使われていたことを知らせんでした。ホノカとアリシアが家に戻ると、アリシアはホノカに「私たちは今日、化石について多くのことを学んだわね」と言いました。ホノカは「そうね、私は宝飾品として琥珀を持ちたいわ」と言いました。

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを8語の英語で、略語を使わずに書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Tsuyoshi: Cathy, I heard you are in the basketball club.

Cathy: Yes, Tsuyoshi. But I can't play well now, so I practice with my sister every Sunday.

Tsuyoshi: Oh, does your sister play basketball well?

Cathy: Yes. My father, my brother, and she can play basketball well, and she is the best basketball player in my family.

Tsuyoshi: I see. Well, I like playing basketball, too. Let's play this Saturday.

Cathy: OK. (3秒の間)

Question: Who can play basketball the best in Cathy's family?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Ann: What did you do last night, Mike?

Mike: I watched a soccer game on TV. How about you, Ann?

Ann: After I cooked dinner with my mother, I did my math homework.

Mike: Was the math homework easy?

Ann: No. It was very difficult, so my brother helped me.

Mike: Did he? He was very kind.

Ann: Yes. He's always kind to me. I like him very much. (3秒の間)

Question: What did Ann do last night? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Zach: Hitomi, where and when shall we meet to go to the zoo tomorrow?

Hitomi: Let's meet at the station at nine in the morning, Zach. I'll bring lunch for you and me.

Zach: Oh, really? That's great! Thank you.

Hitomi: No problem. I like cooking.

Zach: Are you going to cook lunch for me?

Hitomi: Yes, I am. I hope it will be sunny tomorrow.

Zach: Me, too. (3秒の間)

Question: Where will Zach and Hitomi meet tomorrow?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、アメリカに留学している女子高校生の Yuka が、留学先の学校の図書室について説明を受けているときのものです。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを8語の英語で、略語を使わずに書きなさい。

なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Thank you for coming to our school library, Yuka. This is your first time, right? I'll tell you some important things about this library.

First, look at the computers on this large table. When you want to look for some books, you can use the computers. Second, you have to make a library card to borrow books. When you want to borrow books, please show your library card to the person at that desk. Third, you can borrow books for two weeks. If you still need them, you can have them for another week after that. Finally, this library is usually open from Monday to Friday, but it is closed this Wednesday afternoon for cleaning. Oh, don't forget your student ID card when you come into this library. (3秒の間)

Question 1: What can Yuka use when she looks for some books in the library?

(5秒の間)

Question 2: When is the library usually open? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第3回
(11月)

【解 答】(配点: ② 3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> イ <対話文2> エ <対話文3> ウ

【問題B】 <Question 1> ア

<Question 2> 【例】 He shows her photos of Japanese art.

② 1 イ 2 エ 3(1) ウ

3(2) 【例】 I want to visit London because I am interested in music. There are many people who enjoy music in London. I want to talk with them and play music together. (3文)

③ 【問1】 エ 【問2】 ウ 【問3】 イ 【問4】 エ 【問5】 イ 【問6】 エ 【問7】 ウ

④ 【問1】 イ 【問2】 ウ→ア→イ→エ (完答) 【問3】 (1) エ (2) イ (3) ウ

【問4】 (1) ウ (2) エ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えたとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解 説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。What does ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) Iのアンケート結果参照。緑茶と答えた外国人訪問客は「80パーセント以上」。(B) 空所を含む文に続けて、「僕たちは日本ではそれらをお寺や神社だけで手に入れることができる」と説明しているから、「お守り」が入る。

2 (A) II-1の地図参照。京都駅から京都国際マンガミュージアムまでは「電車で約6分」。(B) II-2の予定表参照。ユウジ(Yuji)とボブ(Bob)のグループは午前9時に京都駅を出発し、午後5時に京都駅に戻るとわかるから、「…僕たちは京都駅に戻る前にちょうど買い物を楽しむことができるだろう」という意味の文に。

3 (1) ウ Eメールの本文第2段落から、「ボブの経験について聞いたあと、ボブの友だちの何人かは日本を訪問したいと思っている」が合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2021年度の入試形式

「2021年度都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま、僕(=ユウジ)はあなた(=ボブ)の質問に答えるね。僕の答えはイエスだよ。僕はそれらの一つについて書くね」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=ボブ)の質問」とは、本文3ページのボブがユウジに送ったEメールの本文最終段落に書かれている「あなたには訪問したい場所がありますか」という質問。I want to visit ~で書き始めると書きやすい。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「ボブに伝えたい内容を一つ取り上げ、それに関する具体的な説明を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

- ・ケース1「ボブに伝えたい内容を一つも取り上げていない」
- ・ケース2「ボブに伝えたい内容を複数取り上げている」
- ・ケース3「それに関する具体的な説明が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

- ・1文しかない場合…8点減点。
- ・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分を、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 下線部は、直前のノブ(Nobu)の発言にエマ(Emma)が同意を示したもの。ノブは「いや(いたずらで怒りを感じることではない)。僕はただそれらがおもしろいと思わないだけでよ」と説明しているから、ノブの発言内容に近いものを選ぶ。

【問2】 下線部は、直前のエマの「それ(=いたずら)はただ単に、人びとを悲しませたり、おびえさせたりする」という発言を聞いたケン(Ken)が「僕はそうしたくない」と述べたもの。従って、「僕は人びとを悲しませたり、おびえさせたりしたくない」という意味だと判断できる。

【問3】 下線部は、直前のエマの発言にマイ(Mai)が同意を示したもの。エマは「サプライズパーティーはいたずらになり得ると思うけど、それらはいいい意味で人びとを驚かせる」と説明しているから、エマの発言内容に近いものを選ぶ。

【問4】 下線部は、直前のエマの英語でのだじゃれを聞いたケンが「どうしてそれがおもしろいの?」と尋ねたもの。ケンはエマのだじゃれを理解できなかったとわかる。

【問5】 直前の1文の内容と合わせて考える。マイは「私は、外国出身の生徒たちにおもしろい冗談を言いたい。私たちが新しい友だちを作りたいとき、それらは役に立つ」と説明しているから、この内容に最も近いものを選ぶ。

【問6】 本文前半部の内容から、「ケンはノブを驚かせるために、ノブにびっくり箱を見せた」という意味の文に。

【問7】 (A) 2つ目の空所を含む文に注目。エマの7番目の発言以降の対話の内容から、「それら(=日本語のだじゃれ)は英語のpunのような冗談だ」という意味の文に。「~のような」「~のように」は前置詞のlikeで表す。最初の空所を含む文は、「ケンとマイはいたずらが好きだが、…」という意味。(B) マイの最後から3番目の発言以降の対話の内容より、「マイは空気をなごませる良いものである英語の冗談に興味を持っている」という意味の文に。主格の関係代名詞thatの文。

④ 【問1】 下線部は「アヤカ(Ayaka)は母親に学校の制服を見せることができなかった」という意味。ここまでの内容から、「アヤカが中学生になる前に、アヤカの母親は亡くなった」とわかる。

【問2】 アは「アヤカはニューヨークに住んでいる女性からの手紙を読んだ(本文第5段落)」, イは「アヤカと彼女の父親は美術館の展覧会に行った(第6段落)」, ウは「アヤカと彼女の母親は庭で本を読んだり、お茶を飲んだりして

楽しんだ(第2段落)」、工は「アヤカはオカさんから、庭と自分の母親に関する話を聞いた(第7段落)」だから、ウアイエの順。

〔問3〕(1) 本文第2段落から、「アヤカの母親が死ぬ前、アヤカは庭にたくさんの種類の花を植えました」を表す文に。
(2) 本文第5段落から、「東京を訪れる予定であり、アヤカの母親に会いたかったので、オカさんは手紙を書きました」を表す文に。(3) 本文第6段落から、「美術館の展覧会に行ったとき、アヤカはオカさんが自分の家の庭について知っていることに気がつきました」を表す文に。

〔問4〕(1) 「アヤカの家の中の庭の絵画はいつ描かれましたか」に答える。本文第7段落から、「それは15年前に描かれました」。
(2) 「アヤカはなぜ庭でアサガオの写真を撮ったのですか」に答える。本文第9段落から、「なぜなら彼女はそれらをオカさんに送りたいからでした」。

全 訳

I

〔問題A〕

<対話文1>

タク： アンナ、4番を身につけている選手が見える？

アンナ： ええ、タク。私は、彼が良い選手だと思うわ。

タク： 彼はケンだよ。彼は僕の同級生なんだ。彼はまたチームでいちばん速く走るんだ。

アンナ： えっ、本当に？私は以前はサッカーに関心がなかったけど、今はそれが好きよ。この試合に私を連れてきてくれてありがとう。

タク： どういたしまして。試合後に何か食べたい？

アンナ： いいけど、最初に図書館へ行ってもいい？私は宿題のために本を何冊か借りる必要があるの。

タク： 問題ないよ。

質問：タクとアンナは何をしていますか。

<対話文2>

ヒロ： やあ、リサ。君の週末はどうだった？

リサ： こんにちは、ヒロ。すばらしかったわ。私は友だちのアヤと買い物に行ったの。

ヒロ： それはいいね。君は何を買ったの？

リサ： 私は動物に関する本を何冊か買ったわ。

ヒロ： 動物？

リサ： ええ。私は動物が大好きなの。私は次の日曜日に、動物園へ行くつもりよ。あなたは行きたい？

ヒロ： ええと、行きたいけど、行けないんだ。僕はその日、祖母を訪ねるつもりなんだ。

質問：ヒロは次の日曜日に、何をやるつもりですか。

<対話文3>

女性： すみません。次のバスは何時に来ますか。

男性： ええと、11時50分なので、次のバスは1分後に来ますよ。どこに行くのですか。

女性： 私は博物館に行きます。そこへ行くのにどのくらいかかりますか。

男性： 約20分かかると思います。

女性： 約20分？えっ、まさか！私は12時にそこで姉に会わなければなりません。

男性： たぶん今すぐ彼女に電話したほうがよいですね。

質問：女性は何時に博物館に着くでしょうか。

〔問題B〕

こんにちは、皆さん。私はメアリーです。私はロンドン出身です。私は日本に来て約6か月になります。私は日本の学校での最初の日に、緊張していました。その日、アヤが英語で私に話しかけてくれました。私たちはテニスについて話しました。私は上手に日本語を話せなかったで、本当にうれしかったです。私たちはそのときから、仲の良い友だちです。

私は学校で美術部に所属しています。私は日本美術に関心があって、そこでそれについて学んでいます。美術部では、ケンタが日本美術についてよく知っています。彼はいつも私に日本美術の写真を見せてくれます。彼はとても親切です。

家で、私は毎日、日本語を勉強しています。私は日本の映画を見たり、マンガ本を読んだりもします。それらは日本語を勉強するのに役に立ちます。

質問1：メアリーとアヤはメアリーの学校での最初の日に、何について話しましたか。

質問2：ケンタはメアリーに何を見せますか。

2

1

ボブ： ユウジ、これを見て。これらは外国人訪問者の間で人気のある日本のおみやげなんだ。

ユウジ： うわあ、彼らの80%以上は緑茶が好きなんだ。僕は驚いたよ。

ボブ： それはオーストラリアで人気があるんだ。僕の両親もそれが大好きだよ。それは紅茶とは違うんだ。

ユウジ：僕はふつう、おみやげとして緑茶は買わないから、それは興味深いね。

ボブ： お菓子も人気のあるおみやげなんだ。

ユウジ：君の言う通りだね。実は、僕もいつもおみやげにお菓子を買うんだ。昨年、僕は北海道に行って、友だちにお菓子を買ったよ。

ボブ： お菓子は日本人の間でも人気のあるおみやげなんだね。

ユウジ：僕はそう思うよ。君はオーストラリアの友だちに何を買いたい？

ボブ： そうだな、僕はお守りを買おうと思っているんだ。僕たちは、日本ではそれらをお寺や神社だけで手に入れることができるよね。

ユウジ：たくさんの種類があるよ。もし君が勉強のためのおまもりを買ったら、君の友だちは喜ぶだろう。

2

ボブ：僕たちは来月、修学旅行があるよね。僕はわくわくしているよ。

ユウジ：僕もだよ。アキとサオリが僕たちのグループに加わる予定だよ。だから、僕たちのグループには4人のメンバーがいるんだ。

ボブ：なるほど。

ユウジ：さて、この地図と時刻表を見てよ。僕たちは2日目のために自分たち自身の計画を立てなければならないんだ。

ボブ：エイガムラって何？

ユウジ：それは遊園地だよ。僕たちはそこで映画のセットを見ることができ、俳優たちが侍や忍者の衣装を着ているんだよ。

ボブ：楽しそうだね。僕はそこに行きたいな。

ユウジ：アキとサオリは清水寺に行きたいと思っているよ。

ボブ：君はどうだい？行きたいところはあるの？

ユウジ：うん。京都国際マンガミュージアムに行きたいな。京都駅から電車で約6分かかるよ。そこにはたくさんの古いマンガ本があるんだ。

ボブ：僕もそれらを見たいな。ところで、おみやげはどこで買えるの？

ユウジ：清水寺周辺にはたくさんの良い店があるよ。でも、最初にそこに行ったら、僕たちはおみやげを一日中持ち運ばなければならないよ。

ボブ： それなら、僕たちは最初にそこに行くべきではないね。

ユウジ： 僕もそう思う。朝いちばんに映画村に行こう。そのあとで、マンガミュージアムと清水寺に行こう。そうすれば、僕たちは京都駅に戻る直前に買い物を楽しむことができるだろう。

ボブ： いいね。その計画についてアキとサオリに話そうよ。

3

(1)

ユウジへ、

元気ですか。僕が日本にいたとき、僕をたくさん助けてくれてありがとう。僕はすばらしい時間を過ごし、日本について多くのことを学びました。

僕は京都への修学旅行を本当に楽しみました。僕はオーストラリアの友だちや家族にたくさんのおみやげを買って、帰国後、そのおみやげを彼らにあげました。友だちは日本についてあまり知らなかったので、僕は彼らに日本での滞在についても話しました。いま、彼らは日本に興味があります。彼らの中には日本に行くことについて考えている人もいます。僕は両親に緑茶も買いました。彼らは毎日、夕食後にそれを飲んで楽しんでいます。

京都を訪れたあと、僕はその市に関するたくさんの本を読みました。異なる場所へ旅行することはすばらしい経験です。僕が訪れたことがない場所はたくさんあります。僕は将来、より多くの異なる場所を訪れたいと思っています。

君はどうですか、ユウジ。君が訪れたい場所がありますか。それらについて僕に話してください。

(2)

ボブへ、

メッセージをありがとう。僕も君と一緒に修学旅行を楽しみました。日本にいたとき、君もオーストラリアについてたくさん僕に教えてくれました。実は、君が国に帰ったあと、僕はオーストラリアについての本を何冊か読みました。

いま、僕は君の質問に答えます。僕の答えはイエスです。僕はそれらの一つについて書きます。

僕は、君がまたすぐに僕にEメールを書いてくれることを願っています。

君の友だち、
ユウジ

3

ケンとノブ、マイは東京の中学生です。エマはアメリカ出身の中学生です。彼らは学校で昼食後、話しています。

ケン： ノブ、これは君へのプレゼントだよ。

ノブ： 僕へのプレゼント？今日は僕の誕生日じゃないけど、ありがとう。いま、それを開けてもいい？

ケン： もちろん。

ノブがそのプレゼントの箱を開けると、サルがその箱から飛び出す。

ノブ： わあ！これは何だい？

ケン： それはびっくり箱だよ。驚いたかい？それは美術の授業の僕の宿題だったんだ。

マイ： うわあ、かっこいいわ。私はそれが大好きよ。

ノブ： ありがとう、ケン。でも、僕はこういう種類の冗談はあまり好きじゃないんだ。

ケン： ああ、悪かったね。僕はこれを君に見せたかっただけなんだ。

マイ： アメリカにはこのようなものがあるの、エマ？

エマ： ええ。それはいたずらの一例ね。

マイ： いたずらって何？

エマ： 私はあなたたちに他の例をいくつかあげるわ。それらは友だちのノートにおかしな顔を描いたり、友だちにゴキブリのおもちゃを見せたりするような冗談よ。友だちを驚かすためにこういうことをするのが好きな人たちもいるわ。

マイ： あっ、子どものとき、私は一度、母にゴキブリのおもちゃを投げたわ。

ノブ： 本当に？君のお母さんは怒った？

マイ： ええ。私は怒る人たちがいることは知っているけど、人を驚かすことはおもしろいわ。あなたはいたずらに怒りを感じるの、ノブ？

ノブ： いや、感じないよ。僕はただそれらがおもしろいと思わないだけだよ。

エマ： わかるわ。いたずらはある人にとってはおもしろくないのよ。ときには、それらは冗談のように見えないわ。アメリカの学校では、いじめはときにはいたずらから始まるの。それはただ単に人びとを悲しませたり、こわがらせたりするだけなの。

ケン： えっ、まさか。僕はそうしたくないな。

ノブ： 心配しないで。僕は悲しく感じたり、こわく感じたりはしなかったよ。

マイ： サプライズパーティーはどうなの？先月、私たちはエマのためにサプライズパーティーを開いたわね。

エマ： 私はとてもうれしかったわ。私は、サプライズパーティーはいたずらになり得ると思うけど、それらはいい意味で人びとを驚かすのよ。みんなが楽しいわ。

マイ： 私もそう思うわ。みんながそれらを楽しめるから、私はサプライズパーティーが大好きよ。

エマ： 私は、良いサプライズと悪いサプライズがあると思うの。もしいくつかのいたずらが悪いサプライズだったら、人びとは怒るでしょう。

マイ： なるほど。私は気をつけるべきだと思うわ。私はいたずらで私の友だちを怒らせたくないわ。

エマ： それで、いたずらが好きでないなら、あなたはどんな種類の冗談が好きなの、ノブ？

ノブ： 僕はだじゃれのように、言葉を使う冗談が好きなんだ。

ケン： 僕は、君がだじゃれが大好きなことを知ってるよ。君は毎日、だじゃれを使うよね。

エマ： だじゃれって何なの？

ノブ： それらは同じまたは似た音を持つ冗談だよ。「ステーキはすてきです」というのが一例さ。それは「ステーキがすてきです」という意味なんだ。

エマ： 私たちはそれを pun と呼ぶわ。多くの英語の pun があるわ。たとえば、私たちは「火曜日は平日だから、日曜日は

火曜日より強い」と言うわ。ウィークデイ（平日）がウイーク デイ（弱い日）と聞こえるの。

ケン： ごめん。どうしてそれがおもしろいの？

ノブ： 君はだじゃれについてもっと学ぶべきだね、ケン。僕があとで君にだじゃれの世界について教えてあげるよ。僕は pun が言語を学ぶのに良いと思うんだ。

エマ： 私もそう思うわ。私はだじゃれからもっと多くの日本の言葉を学ぶことができるわ。

マイ： 私は英語の冗談と pun についてもっと知りたいと思うわ。私は外国出身の生徒たちにおもしろい冗談を言いたいわ。私たちは新しい友だちを作りたいとき、それらは役に立つわ。

エマ： あなたの言う通りよ。私たちが他の人たちと話すときに、冗談は私たちを助けることができるわ。それらは空気をなごませるものになれるわ。

マイ： その通り！エマ、私に英語の冗談と pun をいくつか教えてくれない？

エマ： いいわよ。どうか私に日本語のだじゃれを教えてね。

マイ： わかったわ！

4

アヤカは両親と一緒に小さな家に住んでいました。彼女の家には美しい庭がありました。彼女と両親はその庭が大好きで、そこで多くの時間を過ごしました。アヤカの父親は毎日、その庭の世話をして、アヤカがいつも庭で彼を手伝いました。その庭はいつも花や木でいっぱいでした。

アヤカの母親は病気で、何年間も車いすに乗っていました。アヤカは母親に見せるために庭にたくさんの種類の花を植えました。母親が大好きだった庭で作業したとき、彼女は幸せでした。天気の良い日には、彼女は母親と一緒に庭で本を読んだり、お茶を飲んだりしました。彼女が12歳のとき、母親が「アヤカ、あなたは4月に中学生になるわね。私は学校の制服を着たあなたを見るのが待ち遠しいわ」と言いました。その冬、母親は亡くなりました。

アヤカは2月上旬のその日を思い出しました。寒い日でした。彼女が学校にいたとき、彼女の先生が彼女のところに来て、「あなたのお母さんが倒れて、病院に行ったわ。私があなたを病院に連れて行くので、今すぐ行く用意をしろ」と言いました。アヤカが病院に着いたとき、父親がすでにそこにいました。彼はアヤカを抱きしめて、「すまない、アヤカ。すまない…」と言いました。

アヤカは母親に学校の制服を見せることができませんでした。中学生になったとき、彼女は庭をさげ始めました。父親は彼女を庭に連れ戻そうとしました。ある晩、彼らが夕食をとっていたとき、彼が「アヤカ、私は今度の土曜日に庭をそうじするつもりだ。私を手伝ってくれないかい？」と言いました。アヤカは「ごめんなさい、お父さん。私は友だちと一緒に買い物に行くつもりなの」と答えました。「それなら日曜日はどうだい？」と彼は聞きました。アヤカは怒って、「いやよ！私はしたくないわ。それはお父さんの庭よ。お母さんにたくさんの種類の花を見せたかったから、私はその世話をしたの。もしお父さんがまだそうしたければ、私はお父さんを止めないわ」と言いました。そして彼女は自分の部屋に行きました。

6月のある日、1通の手紙がアヤカの母親あてに来ました。それはニューヨークに住んでいる画家から送られてきました。彼女の名前はオカナオミでした。アヤカはその手紙を開けて、それを読みました。その手紙の中で、オカさんは東京に来て、アヤカの母親に会いたいと書いていました。彼女はまた美術館の展覧会のチケットを3枚送ってきました。その晩、アヤカは父親にその手紙とチケットを見せました。彼は「オカさんはあなたのお母さんの古い友だちだよ。彼女たちは同じ大学に通っていたんだ。あなたのお母さんは彼女の絵画が大好きだった。私はあなたに彼女の絵画を見せたいと思う。あなたはそれらを大好きになるだろう」と言いました。アヤカはそれらに興味を持ちました。彼女は「どうか私をその展覧会に連れて行って」と言いました。

次の土曜日、アヤカは父親と一緒にその展覧会に行きました。展覧会で大勢の人を見たとき、彼女は驚きました。父親が「オカさんは有名な画家だよ。彼女には大勢のファンがいるんだ」と言いました。アヤカはそのことを知りませんでした、母親の友だちがそのような有名な画家だったので、うれしくなりました。アヤカは展覧会を見て回りました。突然、彼女はひとつの絵画の前で立ち止まりました。彼女は数分間、動くことができませんでした。それはアヤカの家の中の絵画でした！アヤカと父親は展覧会のあとで、オカさんに会いました。アヤカの父親とオカさんはしばらくの間、話をしました。オカさ

んが「まあ。私とその庭を描いてから、15年が過ぎたわ。私はそれを昨日のように思い出すわ」と言いました。彼らは昔のことについて話していました。オカさんがアヤカに「私が前回あなたに会ったとき、あなたはわずか2歳だったわ。私はあなたとあなたのお母さんと一緒に庭で楽しい時を過ごしたわ」と言いました。それから、オカさんはアヤカの父親に「それで、あなたはまだ彼女の庭の世話をしているのですか」と聞きました。「ええ、しています」と彼は言いました。「彼女の庭？」とアヤカが言いました。オカさんは「そうよ。あなたが生まれる前に、あなたのお母さんがその庭を始めたのよ。でも、彼女は病気になったので、あなたのお父さんがそのときからその世話をしているのよ」と答えました。

オカさんは何枚かの写真をかばんから取り出して、それらをアヤカに見せました。それらは庭の写真でした。彼女は「あなたのお母さんが私にたくさんの写真を送ってくれたの。私は彼女の写真が大好きだわ。私は季節ごとに異なる花を見ることができるわ。私は、あなたがこれらの花を植えたと聞いたわ、アヤカ。あなたのお母さんはとてもうれしいと言っていたわ」と言いました。その写真の中で、アヤカは色とりどりの花を見ました。涙のしずくがその写真の上に落ち始めました。

その年の7月の天気の良い朝に、アヤカは庭にいました。父親が庭にやって来て、「アヤカ、何をしているんだい？あなたは今日、庭に水をやらなくていいんだよ。今日の午後は雨が降るだろう」と言いました。「私は写真を撮っているのよ、お父さん。私が植えたこれらのアサガオを見て。私はそれらの写真をオカさんに送るつもりなの」とアヤカは言いました。父親はほほ笑んで、「彼女はとても喜ぶだろう」と言いました。

第3回(11月) 英語学力検査リスニングテスト台本

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを7語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Taku: Anna, can you see the player who is wearing number four?

Anna: Yes, Taku. I think he is a good player.

Taku: He's Ken. He's my classmate. He also runs the fastest on the team.

Anna: Oh, really? I wasn't interested in soccer before, but I like it now. Thank you for bringing me to this game.

Taku: You're welcome. Do you want to eat something after the game?

Anna: Sure, but can we go to the library first? I need to borrow some books for my homework.

Taku: No problem. (3秒の間)

Question: What are Taku and Anna doing? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Hiro: Hi, Lisa. How was your weekend?

Lisa: Hi, Hiro. It was great. I went shopping with my friend Aya.

Hiro: That's nice. What did you buy?

Lisa: I bought some books about animals.

Hiro: Animals?

Lisa: Yes. I love animals. I'm going to go to the zoo next Sunday. Do you want to come?

Hiro: Well, I want to, but I can't. I'm going to visit my grandmother that day. (3秒の間)

Question: What is Hiro going to do next Sunday?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Woman: Excuse me. What time will the next bus come?

Man: Well, it's eleven fifty, so the next bus will come in one minute. Where are you going?

Woman: I'm going to the museum. How long does it take to get there?

Man: I think it takes about twenty minutes.

Woman: About twenty minutes? Oh, no! I have to meet my sister there at twelve.

Man: Maybe you should call her now. (3秒の間)

Question: What time will the woman arrive at the museum?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、留学生のMaryが、日本での生活について英語の授業で行ったスピーチです。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを7語の英語で書きなさい。

なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Good afternoon, everyone. I'm Mary. I'm from London. I have been in Japan for about six months. I was nervous on my first day at school in Japan. That day, Aya talked to me in English. We talked about tennis. I could not speak Japanese well, so I was really happy. We have been good friends since then.

I'm in the art club at school. I'm interested in Japanese art and I learn about it there. In the art club, Kenta knows a lot about Japanese art. He always shows me photos of Japanese art. He is very kind.

At home, I study Japanese every day. I watch Japanese movies and read comic books, too. They are useful for studying Japanese. (3秒の間)

Question 1: What did Mary and Aya talk about on Mary's first day at school?

(5秒の間)

Question 2: What does Kenta show Mary? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第4回
(12月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> ア <対話文2> ウ <対話文3> イ

【問題B】 <Question 1> エ

<Question 2> [例] They should go to the station.

② 1 エ 2 ウ 3(1) イ

3(2) [例] I like playing video games, so I want to play them with her. I have some games which little children can learn how to play easily. So I'm sure she will enjoy playing them. (3文)

③ [問1] イ [問2] ア [問3] エ [問4] ウ [問5] イ [問6] エ [問7] ア

④ [問1] エ [問2] イ→エ→ウ→ア (完答) [問3] (1) ウ (2) ア (3) イ

[問4] (1) イ (2) エ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えたとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。Where should ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) 空所の直前で、ジョン(John)が、「それは僕の国から来た伝統的な踊りです」と述べていることに注目。Iのウェブサイト参照。ト書き(対話文の前に書かれている説明)に、ジョンがニュージーランド出身とあることから、「ハカ」を選ぶ。(B) 空所の前でヒロ(Hiro)が、「オリビア(Olivia)は日本の踊りを踊りたいと言っていました」と説明していることに注目。Iのウェブサイト参照。紹介されている日本の踊りは「阿波踊り」。

2 (A) ここまでの内容から、ジョンの妹は5歳であることがわかる。II-1のチケットの料金表参照。5歳であるジョンの妹が入手できるのは「子ども用チケット」。(B) ここまでの内容から、ジョンは「よさこい祭り」が含まれているバス旅行を選ぼうとしていることがわかる。また空所の直前でジョンが、アオイ城は妹向きではないと述べていることにも注目。II-2の日程参照。ジョンが選ぼうとしているのは「旅行D」。

3 (1) イ Eメールの本文第1段落の最後の2文から、「ジョンは文化祭で、舞台上上がってきた人たちと一緒に踊ることを楽しみました」が合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2021年度の入試形式

「2021年度都立高等学校入学選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま、僕(=ヒロ)はあなた(=ジョン)の質問に答えます」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=ジョン)の質問」とは、本文3ページのジョンがヒロに送ったEメールの本文第3段落に書かれている「次にあなたが僕の妹にあったとき、あなたは彼女と何をしたいです

か」という質問。I want to ~で書き始めると、書きやすい。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「ジョンに伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

・ケース1「ジョンに伝えたい内容を一つも取り上げていない」

・ケース2「ジョンに伝えたい内容を複数取り上げている」

・ケース3「それを取り上げた理由が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

・1文しかない場合…8点減点。

・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表す because について、「理由」の部分、主節の文とは独立させて Because で書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ [問1] 下線部の「私もです」というスー(Sue)の発言は、直前のエミ(Emi)の発言を受けてのもの。エミは、「地域社会のために何か良いことをすると、私はうれしく感じます」と述べていることから、その内容に近いものを選ぶ。

[問2] 下線部の直前でエミが、「…私たちの市の多くの人がボランティアをすることに興味を持っていないと、私は思います」と述べている。下線部はこの発言に対してリョウ(Ryo)が「あなたは正しいです」と述べたものであるから、エミの発言内容に近いものを選ぶ。

[問3] 下線部の直前でリョウが、「…ボランティアをすることは日本でより人気が出てきていると思います」と述べている。下線部はこの発言に対してカイト(Kaito)が「僕もそう思います」と述べたものであるから、リョウの発言内容に近いものを選ぶ。

[問4] 下線部の直前でエミが「日本の生徒たちにはそのようなカリキュラムがあるべきだと、私は思います」と述べていることに注目。「そのようなカリキュラム」とは、ここまでの内容から、ボランティアをすることが含まれたカリキュラムのこと。よって、下線部の「ええと、それに同意しない人もいます」とは、「生徒たちに学校のカリキュラムでボランティア活動をしてもらいたくない人たちもいます」ということ。

[問5] 下線部は、直前のリョウの提案にエミが賛同を示したもの。リョウはエミに、学校新聞に自分の活動についての記事を書くことを提案していることから、その内容に近いものを選ぶ。

[問6] エミの6番目の発言から、「エミは、ニューヨークに住んでいる自分の姉と一緒にボランティア活動に参加しました」を表す文に。現在分詞(形容詞的用法)の文。

[問7] (A) 1つ目の空所を含む文に注目。エミの最初の発言から、「…しかしエミは彼に、そのイベントのTシャツをあげました」という意味の文に。(B) 2つ目の空所を含む文に注目。スーの5番目の発言から、「災害が起きたときだけ、日本の多くの人はボランティア活動をします」という意味の文に。

④ [問1] 読書部の顧問であるオカ先生(Mr. Oka)が、本を読み、それを他の生徒と共有することについて話すのを聞いて

ている場面であることから、下線部の「彼女はそれをするのがとても好きでした」とは、「彼女は本を読んで、それらについて他の人と話すことが好きでした」ということ。

【問2】 アは「サキ(Saki)と彼女の父親は、マナ(Mana)のところを訪れ、フジタ先生(Ms. Fujita)について話しました(本文第8段落)」、イは「マナはミドリ高校の読書部のメンバーになりました(第2・3段落)」、ウは「サキの父親はサキに1枚の写真を見せました(第7段落)」、エは「サキは初めてマナについて父親と話しました(第4段落)」だから、**イエウア**の順。

【問3】 (1) 本文第2段落から、「新年度が始まったとき、オカ先生は、読書部に多くの新しいメンバーが入ったのうれしいと言いました」という意味の文に。(2) 本文第8段落から、「高校生だったとき、サキの父親は読書部のメンバーでした」という意味の文に。(3) 本文第8段落から、「フジタ先生からの手紙を見つけたかったので、サキの父親は長時間、図書室にとどまりました」という意味の文に。

【問4】 (1) 「サキが図書室でマナを二回目に見たとき、マナは何をしていましたか」に答える。本文第6段落から、「彼女は自分の祖母によって書かれたメッセージを探していました」。(2) 「マナは自分の祖母のいたずらをどう思いましたか」に答える。本文第9段落から、「『祖母は自分に本をたくさん読んでもらいたかったのだ』と、彼女は思いました」。

全 訳

1

【問題A】

<対話文1>

アヤ： マイク、今度の日曜日に、サッカーの試合を見に行きたい？

マイク： もちろん、アヤ。君はチケットを手に入れたの？

アヤ： そうよ。ヒデとユカも来るわよ。

マイク： それはいいね。試合は何時に始まるの？

アヤ： 3時よ。でも、試合の前に、催し物がいくつかあるわ。それらは2時に始まるの。だから、私は2時までにスタジアムに着きたいの。

マイク： 1時半に駅で会うのはどう？

アヤ： いいわね。それなら、私たちは1時50分頃にスタジアムに着けるでしょうね。

質問：アヤとマイクは今度の日曜日に、何時に会うつもりですか。

<対話文2>

リサ： ケン、これらの写真を見て。私の兄がシドニーからそれらを私に送ってくれたのよ。

ケン： わあ、それらは美しく見えるね、リサ。君のお兄さんはそこに住んでいるの？

リサ： そうよ。私の両親はニューヨークに住んでいるけど、兄はシドニーに住んでいて、科学を勉強しているの。

ケン： それはカッコいいね。僕もいつか留学したいよ。

リサ： あなたは何を勉強したいの？

ケン： 僕は音楽を勉強したいんだ、そしてニューヨークでそれをやりたいんだよ。そこには有名な音楽学校があるそうだよ。

質問：ケンは将来、何をしたいと思っていますか。

<対話文3>

少年： すみません。僕の弟の誕生日のためのプレゼントを探しています。

女性： それはいいですね。あなたの弟さんは何歳ですか。

少年： 6歳です。僕は、彼が新しい帽子をほしがっていると思います。

女性： ここには野球帽がいくつかあります。彼は野球が好きですか。

少年： はい。彼は野球が大好きで、赤が気に入っています。

女性： 私どもには青色と黄色の帽子しかありません。Tシャツはいかがですか。ここに男の子用の赤いTシャツがいくつかあります。この赤いTシャツには野球チームの名前がついています。

少年： 僕は、彼がこのTシャツがとても気に入ると思います。それにします。

質問：少年は弟に何を買うつもりですか。

【問題B】

こんにちは、皆さん。私は、皆さんが私たちの修学旅行の初日を楽しんでいることを望んでいます。いま、私たちは駅にいます。3時から、皆さんは市内を歩いて楽しむことができます。たくさんのお店といくつかデパートがあるので、皆さんの家族にお土産を買うことができます。また、コーヒーショップで軽食を楽しむこともできます。

出発する前に、私は皆さんにいくつかのルールを話したいと思います。1番目に、皆さんは自分の班の仲間たちと一緒にいなければなりません。皆さんは1人で買い物を楽しみたいと思うかもしれませんが、どうかそれはしないでください。2番目に、買い物中に何か問題があったら、皆さんの先生たちに話しかけてください。3番目に、皆さんは6時までにここに帰って来なければなりません。私たちは6時10分に中華料理店に行く予定です。私たちの夕食は6時半に始まります。ですから、どうか夕食前に食べ過ぎないでください。

質問1：生徒たちは中華料理店で何を始めますか。

質問2：生徒たちは6時までにどこに行くべきですか。

2

1

ジョン：君は僕たちのダンスのために何か良いアイデアを見つけたかい？

ヒロ： ええと、このウェブサイトを見て。それは世界中のダンスについてだよ。

ジョン：それは興味深いね。僕たちはこれから一つを選ぶことができるね。僕はハカが好きなんだ。それは僕の国からきた伝統的な踊りなんだ。

ヒロ： そうだね、僕はそのパワフルなパフォーマンスが好きだよ。でも、僕たちのチームは昨年、それをしたんだ。僕たちは新しいスタイルを試みるべきだね。

ジョン：なるほど。他のメンバーはどんなスタイルをやりたいのかな？

ヒロ： エミはヨーロッパのスタイルをやりたいと思っているよ。オリビアは日本の踊りをやってみたいと言っていたよ。

ジョン：オリビアは文化祭のあと、ハワイに戻る予定だよ。もし僕たちが阿波踊りをすれば、彼女は喜ぶだろう。

ヒロ： しかし、エミは喜ばないよ。僕たちは彼女たちと話すべきだと思うよ。

2

ヒロ： 僕は、君の家族が日本に来ると聞いているよ。

ジョン：うん。僕の両親と妹が来るんだ。彼らは11月17日から12月1日までの2週間、滞在する予定なんだ。

ヒロ： 君は彼らと何をするつもりなの？

ジョン：見て。僕は1日バス旅行のチラシを見つけたんだ。僕の家族はこれらのバス旅行の一つを楽しむと思うよ。

ヒロ： それは良い考えだね。

ジョン：ありがとう。それに、僕の妹は5歳なので、割引を受けることができるんだ。割引は母にとって重要なんだ。

ヒロ： 僕は、君の妹は小学生だと思っていたよ。

ジョン：うん、そうだよ。彼女は1年生だよ。ニュージーランドでは、子どもたちは日本より早く学校へ行き始めるんだ。

ヒロ： なるほど。だから、君の妹は子ども用のチケットを手に入れることができるんだね。

ジョン：その通り。ええと、僕はルートの場所のうちのいくつかを知らないんだ。ワカバガーデンはどのようなものなの？

ヒロ：それは伝統的な日本の庭だよ。それはとても静かな場所なんだ。

ジョン：それなら、僕は旅行 A を選ぶべきではないね。僕の妹は静かな場所を楽しまないと、僕は思うよ。

ヒロ：同意するよ。僕は、彼女がよさこい祭を楽しむと思うな。

ジョン：僕もそう思うよ。僕たちはアオイ城とミドリ公園で何を楽しむことができるの？

ヒロ：アオイ城では、君たちは日本の歴史を学ぶことができるよ。僕は、君たちがそれを気に入ると思うな。ミドリ公園はこの市で最も大きな公園の一つなんだ。それは子ども連れの家族の間で人気があるよ。

ジョン：僕は、妹が日本の歴史を学ぶのを楽しまないとと思うので、旅行 D が僕たちにとっていちばん良い旅行だと思うな。助けてくれてどうもありがとう。

3

(1)

ヒロへ、

僕は先週、ニュージーランドに戻りました。僕が日本にいる間、助けてくれてありがとう。僕は日本での滞在をととても楽しみました。僕は自分たちが毎日、ダンスの練習をしたことを覚えています。それは困難でしたが、僕は本当にそれを楽しみました。文化祭では、僕たちはとても上手に踊り、大勢の人が僕たちの踊りを楽しみました。僕はとてもうれしかったです。僕たちがステージで踊っている間に、何人かの生徒がやって来て、自分たちと一緒に踊りました。僕はびっくりしましたが、それもととても楽しかったです。

僕はバス旅行も覚えています。僕がその旅行を選んだとき、君は僕を助けてくれました、そして君も僕たちと一緒に来ましたね！妹は君をととても気に入って、彼女は「私はすぐにまたヒロに会いたい」とよく言っています。彼女はまた、よさこい踊りを見て楽しみました。彼女はそれがとても好きで、ニュージーランドに戻ったあと、インターネットでその踊り方を習いました。彼女は昨日、僕のためにそれを踊ってくれました。僕は彼女がとても上手にそれを踊ったのにびっくりしました。彼女は「またヒロに会ったら、私は彼とよさこいを踊るつもりだ」と言っていました。

ヒロ、君はどうですか？次回妹に会ったとき、君は彼女と何をしたいですか？次の E メールでそれについて僕に話してください。

あなたの友だち、
ジョンより

(2)

ジョンへ、

元気ですか。E メールをありがとう。僕も文化祭で君と一緒に踊って楽しみました。僕は、君が良いダンサーだと思います。そして、僕はいま、よさこいの練習を始めるべきだと思います。

いま、僕はあなたの質問に答えます。

僕は、すぐにまた会えることを願っています。

あなたのともだち、
ヒロより

③

リョウとエミ、カイトは東京の高校生です。スーはニューヨーク出身の高校生です。彼らはボランティア活動について話しています。

リョウ：この前の日曜日のそうじのイベントはどうだった、エミ？

エミ：それはすばらしかったわ。20 人以上の人がそのイベントに来たと、私は思うわ。私たちは市役所の近くの公園をそうじするために一生懸命働いたわ。これはイベントの T シャツよ。それはあなたへのよ、リョウ。

リョウ：ありがとう。僕は行きたかったけど、その日は母を手伝わなければならなかったんだ。

エミ：大丈夫よ。心配しないで。もしひまなら、あなたはボランティアをするべきだわ。あなたは今までに何かボランティア活動に参加したことがあるの、カイト？

カイト：いや、ないよ。でも、僕は興味はあるよ。

エミ：そうなの？あなたは次回、私たちと一緒に来るべきだわ。私たちはたいてい市内の公園をいくつかそうじするの。地域社会のために何か良いことをすると、私はうれしく感じるわ。

スー：私もよ。自分たちの地域社会をより良くしたいので、多くの人がボランティア活動に参加しているわ。

カイト：なるほど。君は何かボランティア活動をしているの、スー？

スー：ええ。私は駅の近くの学童で子どもたちに英語を教えているわ。私は子どもが大好きなの。

エミ：わあ、私も子どもが大好きよ。あなたは、私が彼らに英語を教えることができると思う？

スー：ええ。私は毎週金曜日にそこに行くの。もしよければ、あなたは私と一緒に来ることができるわ。

エミ：本当？それなら、私は今度の金曜日に、あなたと一緒に行くわ。

カイト：僕は、君がボランティアをするのが好きだということを知らなかったよ、エミ。

エミ：ええと、姉がニューヨークに住んでいて、私はこの前の夏、彼女に会いにそこに行ったの。滞在中に、私は彼女と一緒に市立図書館でのそうじのイベントに参加したの。たくさんの人がそのイベントに来て、私は彼らと話をし、楽しんだわ。彼らは自分たちの図書館が大好きなの。それ以来、私はボランティアをすることに興味があるの。

スー：ニューヨークの人たちはボランティアをすることが好きよ。ボランティア活動に参加して、地域社会の他の人たちに会うことは人びとにとって良いわ。

エミ：その通りね。私は、より多くの人が私たちの市のそうじのイベントに来ることを願っているわ。でも、私たちの市

の多くの人がボランティアをすることに興味を持っていないと、私は思うの。

リョウ： 君は正しいよ。僕はあるレポートを読んだよ。アメリカ合衆国では、40 パーセント以上の人はいくつかのボランティア活動をしているんだ。しかしながら、日本では、約 25 パーセントしかそれをしていないんだ。でも、ボランティアをすることは日本でより人気が出てきていると、僕は思うよ。

カイト： 僕もそう思うよ。何年も前に大きな地震があったんだ。父がその人たちを助けるために仙台に行ったんだ。彼は、そこで多くのボランティアを見たと言っていたよ。災害が起きたときに、日本の多くの人は困っている人を助けたいと思っていると、僕は思うんだ。

エミ： でも、なぜボランティアをすることがアメリカ合衆国でとても人気があるの？

スー： 私たちは、ボランティアをすることが自分たちの義務の一部だと考えているの。日本では、多くの人は地震のような災害の間だけしかボランティア活動に参加しないわ。また教育においてもいくつかの違いがあるわ。たとえば、ボランティアをすることは私たちの学校のカリキュラムの一部なの。

リョウ： 生徒たちはボランティア活動をしなければならないということを意味しているの？

スー： そうよ。彼らは病院や小学校、図書館のような多くの場所で働くのよ。自分たちの市で木を植えるか公園をそうじする生徒もいるわ。

エミ： それはいいわね。日本の生徒たちにもそのようなカリキュラムがあるべきだと、私は思うわ。

スー： ええと、それに同意しない人もいるわ。彼らは、ボランティアをすることは強制的であるべきでないとやっているの。そのカリキュラムでは、生徒全員が高校を卒業するためにボランティア活動をいくつかしなければならないの。

エミ： でも、若いときに、だれもがボランティアのようなことを経験すべきだと、私は思うわ。

スー： 実は、学校でボランティアをする前は、私はそれに興味がなかったの。でも、地域社会のために働いたあと、私はうれしく感じたの。

カイト： 僕は、自分たちが人びとにボランティアをすることについてもっと知らせるべきだと思うよ。そうすれば、日本のより多くの人がそれに興味を持つようになるだろう。

リョウ： エミ、学校新聞に君の活動について記事を書くのはどう？カイト、君は新聞の編集者の一人だよ。たぶん君はエミを手伝うことができるだろう。

エミ： それは良い考えね。より多くの生徒がボランティアをすることに興味を持つようになることを、私は願っているわ。

カイト： よし。僕が手伝うよ。

[4]

サキはミドリ高校の生徒でした。彼女は学校で読書部のメンバーでした。彼女は読書が大好きでした。その部の集まりで、部員たちはたいてい自分たちが好きな本について話しました。その読書部は市では有名で、学校で最も古い部のひとつでした。読書の大好きな生徒たちはミドリ高校に来て、その読書部に加わりました。

サキが2年生になったとき、12 人の新しい生徒が読書部に加わりました。その部の顧問であるオカ先生が部に新しく加わった生徒たちに「私は再び多くの新しいメンバーを迎えてうれしいです。この部には本を読むのと自分たちの考えを共有するのが大好きな人が大勢います。私はあなたたちに本をたくさん読んで、あなたたちの考えを上級生と共有してほしいと思います」と言いました。サキはそれを聞いてうれしい気持ちでした。彼女はそれをするのがとても好きでした。

マナは読書部の新しいメンバーのひとりでした。その部に加わったとき、彼女は「この読書部に加わりたかったので、私はミドリ高校を選びました。いま、私はその部のメンバーで、とてもうれしいです」と言いました。最初の部の集まりで、彼女は自分の大好きな本であるチャールズ・ディケンズによって書かれた『クリスマスキャロル』について話しました。

その晩、サキはマナについて父親に話しました。彼女は『『クリスマスキャロル』はお父さんの大好きな本よね？』と言いました。彼女の父親は「ああ、私はあなたにそのことを言ったかい？そう、それは私の大好きな本のひとつだよ。私はそれがあなたの大好きな本のひとつであることも知っているよ」と言いました。サキの父親は小説家でした。サキは彼と本について

話すのが大好きでした。彼女は彼に「マナはとてもおもしろいのよ。彼女はいつも放課後、図書室にいるの。私は、彼女はたくさん読書していると思うわ」と言いました。

ある日、サキは図書室でマナを見かけました。サキはマナに話しかけて、「こんにちは、マナ。あなたは何をしているの？」と言いました。マナは驚いたように見え、「あっ、こんにちは、サキさん。私はあるものを探していただけです」と言いました。すると、彼女は目を伏せて、図書室から歩いて出て行きました。マナが泣いていたので、サキは驚きました。

翌日、サキは図書室で再びマナを見かけました。マナは棚から1冊の本を取り出して、それを開きました。彼女は何かを調べて、その本を棚に戻しました。サキはマナのところに行き、「マナ、あなたは何をしているの？あなたは少し奇妙にふるまっているわよ」と言いました。マナは目を伏せて、「私は自分が読みたい本を探しているだけです。それだけです」と言いました。サキは「本当なの？もしあなたが助けを必要とするなら、どうぞ私に言ってね。どうしたの？」と言いました。すると、マナはサキを見て、「私は祖母の本を探しています。3年前に亡くなる前に、彼女がこの図書室に自分の本を寄贈したんです。彼女は、自分の本の1冊に私へメッセージを残したと言っていました。だから私はそれを見つけないんですが、見つけれないんです」と言いました。彼女は泣き始めました。サキは「祖母のメッセージを見つけたかったの、マナはミドリ高校の生徒になったんだわ」と思いました。

サキは帰宅して、父親と話しました。彼女は「私たちは図書室の本の中にそのようなメッセージを見つけられないと思うわ。そこには本がたくさんありすぎるわ。お父さんは彼女のおばあさんが1枚の紙にメッセージを書いて、それを本にはさんだと思ふ？もしそうなら、だれかがそれを見つけて、それを捨てるかもしれないわ」と言いました。それを聞いたとき、彼女の父親は驚いたように見えました。すると彼はほほ笑んで、サキを見て、「マナの名字は何ていうの？」と言いました。サキは「フジタよ。彼女はフジタマナよ」と言いました。彼は「何かわかったぞ。ここで待っててくれないかい？すぐに戻ってくるよ」と言いました。自分の部屋から、彼は1枚の写真を持ってきました。彼はそれをサキに見せて、「マナはこの女性に似てるかな？これはフジタ先生だよ。彼女はミドリ高校の先生で、読書部を始めたんだ」と言いました。

次の週末に、サキと彼女の父親はマナを訪ねました。彼らはマナにフジタ先生の写真を見せました。それを見たあとで、マナは「これは私の祖母です」と言いました。すると、サキの父親は自分の高校時代についての話を始めました。彼は「私はミドリ高校の卒業生なんだ。高校生のとき、私は読書が好きではなかった」と言いました。サキは「それは知らなかったわ」と言いました。彼は「フジタ先生は情熱的な先生だった。生徒全員が彼女を好きだった。もちろん私も好きだった。彼女が読書部を始めたとき、私はその部のメンバーになった」と言いました。サキは「どうして？お父さんはそのとき、読書が好きではなかったのよね」と言いました。彼は「うん、嫌いだった。それで、フジタ先生は私にいたずらをしたんだ。彼女は自分が手紙を私に書いて、それを図書室の本の1冊にはさんだと言ったんだ」と言いました。マナは「あなたはその手紙を見つけたのですか」と聞きました。サキの父親は「いや。私は図書室のほとんどすべての本を調べたけど、それを見つけることはできなかったよ」と言いました。マナは「どうして祖母はあなたに手紙について話したのですか」と言いました。サキの父親はほほ笑んで、「彼女の手紙を見つけるために、私は長時間、図書室にとどまったよ。私はそれを見つけることができなかったけど、自分の本への愛を見つけたんだ。いま、このいたずらが君のおばあさんからの贈りものだったと、私は思うんだ」と言いました。

それを聞いたあと、マナは「祖母は私がミドリ高校に行き、図書室で自分のメッセージを見つけようとするということを知っていたんです。たぶん彼女は私にもいたずらをしたんだけど、いま、私はなぜ彼女がそれをしたのかわかりました。彼女は私にたくさんの本を読んでほしかったんです。私は、彼女からすばらしい贈りものを受け取ったと思います」と言いました。サキと彼女の父親はそれを聞いてほほ笑みました。

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを6語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Aya: Do you want to go to see a soccer game this Sunday, Mike?

Mike: Sure, Aya. Did you get tickets?

Aya: Yes. Hide and Yuka will also come.

Mike: That's nice. What time will the game start?

Aya: At three o'clock. But before the game, there will be some events. They will start at two o'clock. So I want to get to the stadium by two o'clock.

Mike: Why don't we meet at the station at one thirty?

Aya: Sounds good. Then we will be able to get to the stadium at about one fifty.
(3秒の間)

Question: What time will Aya and Mike meet this Sunday?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Lisa: Look at these pictures, Ken. My brother sent them to me from Sydney.

Ken: Wow, they look beautiful, Lisa. Does your brother live there?

Lisa: Yes. My parents live in New York, but my brother lives in Sydney and studies science.

Ken: That's cool. I want to study abroad someday, too.

Lisa: What do you want to study?

Ken: I want to study music, and I want to do it in New York. I hear there is a famous music school there. (3秒の間)

Question: What does Ken want to do in the future? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Boy: Excuse me. I'm looking for a present for my brother's birthday.

Woman: That's nice. How old is your brother?

Boy: He is six years old. I think he wants a new cap.

Woman: We have some baseball caps here. Does he like baseball?

Boy: Yes. He loves baseball, and he likes red.

Woman: We only have blue and yellow caps. How about a T-shirt? We have some red T-shirts for boys here. This red T-shirt has the name of a baseball team on it.

Boy: I think he will love this T-shirt. I'll take it. (3秒の間)

Question: What will the boy buy for his brother? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)
繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、修学旅行の自由行動の前に、先生が生徒たちに対して行った連絡です。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを6語の英語で書きなさい。なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Good afternoon, everyone. I hope you are enjoying the first day of our school trip. Now we are at the station. From three o'clock, you can enjoy walking around the city. There are many shops and some department stores, so you can buy souvenirs for your families. You can also enjoy snacks at the coffee shops.

Before you go, I'd like to tell you some rules. First, you must stay with your group members. You may want to enjoy shopping alone, but please don't do that. Second, please talk to your teachers if you have any problems while you are shopping. Third, you must come back here by six o'clock. We will go to a Chinese restaurant at six ten. Our dinner will start at six thirty. So please don't eat too much before dinner.
(3秒の間)

Question 1: What will the students start doing at a Chinese restaurant? (5秒の間)

Question 2: Where should the students go by six o'clock? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第5回
(1月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> ウ <対話文2> エ <対話文3> イ

【問題B】 <Question 1> ア

<Question 2> 【例】 She wants to cook food with her children.

② 1 ウ 2 ア 3(1) エ

3(2) 【例】 I want to go to Germany. I hear that there are a lot of good universities in Germany. I want to study science at one of them in the future. (3文)

③ 【問1】 ア 【問2】 ウ 【問3】 イ 【問4】 エ 【問5】 エ 【問6】 ウ 【問7】 イ

④ 【問1】 エ 【問2】 エ→ア→ウ→イ (完答) 【問3】 (1) イ (2) ア (3) ウ

【問4】 (1) エ (2) イ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えたとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】 英問英答。4点満点。What does ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) ここでは、歯科医のマツオカさん(Ms. Matsuoka)が話題。Iの発表資料参照。マツオカさんがマイク(Mike)とカズ(Kazu)たちの学校を訪れるのは「5月」。(B) ここでは、イワタさん(Mr. Iwata)の肉屋が話題。Iの発表資料参照。イワタさんの祖父がお店を始めたのはおよそ「50年前」。

2 (A) ここでは、留学生の歓迎会が話題。II-1のポスター参照。歓迎会の予定の10時の欄から、歓迎会は「学校紹介」で始まるとわかる。(B) ここでは、ボランティア募集が話題。II-2のボランティア募集の掲示参照。ボランティアに関しては、1月31日までにキクチ先生(Mr. Kikuchi)に話す必要があると記載されている。また、対話文冒頭の内容から、マイクとカズが話しているのが1月であることがわかる。よって、1月31日は「今月末」。

3 (1) エ Eメールの本文第2段落の最後の2文から、「マイクは、スンのメールを通じて、カンボジアの人びとに姓がないことを初めて知りました」が合っている。

(2) 【部分点あり】 条件付自由英作文。12点満点。

○2021年度の入試形式

「2021年度都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま、僕(=カズ)はあなた(=マイク)の質問に答えます」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=マイク)の質問」とは、本文3ページのマイクがカズに送ったEメールの本文第3段落に書かれている「もし外国で勉強するのなら、あなたはどの国に行きたいですか」という質問。I want to go to ~で書き始めると、書きやすい。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「マイクに伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

- ・ケース1「マイクに伝えたい内容を一つも取り上げていない」
- ・ケース2「マイクに伝えたい内容を複数取り上げている」
- ・ケース3「それを取り上げた理由が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

- ・1文しかない場合…8点減点。
- ・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分を、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 下線部は、直前のリナ(Rina)の「地球にはたくさんの水がありますが、私たちが使える水は限られています」という発言に対して、ジャック(Jack)が「あなたは正しいです」と答えたもの。よって、リナの発言内容に近いものを選ぶ。

【問2】 下線部の直前でジャックが、「ときどき、人びとがより多くの水を得るために、戦争が起きます」と述べている。下線部はこの発言に対してリナが「私には信じられません!」と述べたものであるから、ジャックの発言内容に近いものを選ぶ。

【問3】 下線部の「僕は知りませんでした」というユウイチ(Yuichi)の発言は、直前のパット(Pat)の発言を受けてのもの。パットの発言内容から、ユウイチが知らなかったのは、「オーストラリアの店には、多くの種類のドライシャンプーがある」ということ。

【問4】 下線部の「それについて僕に話してください」とは、直前のリナの発言を受けてのもの。リナは、「…自分の家で水を節約する例を思い出しました」と述べていることから、ユウイチが聞きたいことがわかる。

【問5】 下線部の「僕もそう願います」とは、直前のパットの発言を受けてのもの。パットは、「…あなたのスピーチを通じて多くの人が水を節約することに興味を持ってくれることを願います」と述べていることから、この内容に近いものを選ぶ。

【問6】 ジャックの6番目の発言から、ジャックの友人が髪を洗うときによく使わないものは「水」。

【問7】 (A) 1つ目の空所を含む文に注目。リナの8番目の発言以降の対話の内容から、「私のホストファミリーは毎日、入浴します」という意味の文に。2つ目の空所を含む文は、「でも私は、リナの父親が服を洗うために浴そうの水を使うということを聞きました」という意味。(B) 2つ目の空所を含む文に注目。対話文後半のリナの父親の例から、「…日本には水を節約しようとする人もいるということを学びました」という意味の文に。最初の空所を含む文は、「だから私は、日本人はあまり水を節約したいとは思っていないと思いました」という意味。

④ 【問1】 下線部は、ヨシダさん(Ms. Yoshida)の、「また私たちに会うのはどうですか」という提案に対して、ミドリ

(Midori)とトム(Tom)が「はい」と答えたもの。全訳参照。ミドリとトムは公民館でヨシダさんと話している。

〔問2〕 アは「トムは、『今日宿題がなかったら、僕は早く寝ることができるのに』と言いました(本文第4段落)」、
イは「学校に向かって歩いていたとき、ミドリはヨシダさんに会いました(第8段落)」、ウは「ミドリとトムは、
初めて自分たちの踊りを年配の人たちに見せました(第5段落)」、エは「ミドリは初めて年配の人たちと話しまし
た(第2段落)」だから、エアウイの順。

〔問3〕 (1) 本文第2段落から、「ミドリとトムがベンチに座っていたとき、ヨシダさんが彼らに話しかけ、ミドリの隣
に座りました」という意味の文に。(2) 本文第5段落から、「10月にミドリとトムの踊りを見たとき、年配の
人たちにとって手拍子^{てびょうし}を取ることは難しかったです」という意味の文に。(3) 本文第6段落から、「トムが
イシイさん(Ms. Ishii)に何をするのが好きか尋ねたとき、彼女は歌を歌うことが好きだと言いました」という意
味の文に。

〔問4〕 (1) 「年配の人たちは12月に何をしましたか」に答える。本文第7段落から、「ミドリとトムが踊っていたと
き、彼らは自分たちの手を上げて、それを振りました」。(2) 「ミドリは将来、何をしたいと思っていますか」
に答える。本文第8段落から、「彼女はプロのダンサーとして、自分の踊りで人びとを幸せにしたいと思っていま
す」。

全訳

1

〔問題A〕

<対話文1>

ヒカル： ティム、いま何時？

ティム： 5時だよ、ヒカル。

ヒカル： 本当に？私は今日、6時までに家に帰らなければならないの。

ティム： わかった。君は次の電車が何時に来るか知っている？

ヒカル： ええ。次のは5時20分に来るわよ。この図書館から駅まで歩いて15分かかるわよね？私たちはその電車に乗れ
ると思うわ。

ティム： それなら、僕たちはいま、ここを出るべきだね。さあ行こう！

質問：ヒカルとティムはどの電車に乗るつもりですか。

<対話文2>

ジュン： やあ、ベッキー。君は今日、時間ある？映画を見に行こうよ。

ベッキー： こんにちは、ジュン。ええと、私は今日は忙しいわ。私は午前中、自分の部屋をそうじするつもりなの。そのあ
と、宿題をしなければならないわ。

ジュン： わかった。明日はどうかの？

ベッキー： 私は明日は暇よ。あつ、たった今思い出したわ。私はユカリと一緒に博物館を訪れる予定よ。だから、あなたと
一緒に行けないわ。

ジュン： それなら、次の週末はどう？

ベッキー： 私は土曜日は暇よ。その日に行きましょう。

質問：ベッキーは明日、何をするつもりですか。

<対話文3>

エリー： タクヤ、あなたはこの前の冬にオーストラリアに行ったわよね？

タクヤ： そうだよ、エリー。ここに写真があるよ。どうぞ見て。

エリー： ありがとう。この人たちはあなたの家族なの？

タクヤ： うん。彼らは僕の父と母、弟、僕だよ。その写真を撮ったから、姉はその中には入っていないんだ。

エリー： なるほど。あなたの旅行はどうだったの？

タクヤ： すばらしかったよ。オーストラリアは夏だったので、弟と僕は海で泳いで楽しんだよ。

質問：だれがオーストラリアでタクヤの家族の写真を撮りましたか。

〔問題B〕

こんにちは、皆さん。私はユミです。小さいころ、私はキャベツが好きではありませんでした。私は中にキャベツが入った
料理は決して食べませんでした。母は本当に私にキャベツを食べてほしいと思っていました。ある日、彼女にある考えが浮か
びました。彼女はカレーライスを作りました。それは私の大好きな食べ物のひとつだったので、私はそれを食べました。私が
それを食べ終えたあと、彼女は私に「あなたは今日のカレーライスは気に入った？」と言いました。私は彼女に「ええ、それ
はとてもおいしかったわ」と言いました。すると彼女は「私はそれを聞いてうれしいわ。実は、私はその中にキャベツを入れ
たのよ」と言いました。私は驚いて、「私はキャベツを食べたんだ。信じられない」と思いました。私は料理に興味を持つよ
うになって、母と一緒に料理を始めました。私はそのとき10歳でした。

いま私は15歳で、ほとんど毎日、母と一緒に朝食と夕食を料理しています。将来、私は自分の子どもたちと一緒に料理を
作りたいと思います。

質問1：ユミはどのくらいの間、料理していますか。

質問2：ユミは将来、何をしたいと思っていますか。

2

1

カズ：僕は、エリとサラはとても良くやったと思うよ。

マイク：僕もそう思うよ。僕は彼女らの発表を聞いてとても楽しんだよ。

カズ：将来、歯科医になりたいので、僕はマツオカ先生についての彼女らの発表をととても楽しんだよ。

マイク：僕は君の夢が叶うことを願っているよ。ところで、彼女は5月に僕たちの学校に来る歯科医だよな？

カズ：うん。僕は、彼女はとても良い歯科医だと思うよ。

マイク：なるほど。ええと、僕はイワタさんの話を楽しんだよ。

カズ：そうなの？

マイク：うん。その店はとてもおいしい肉を売っているの、僕のホストファミリーはそこをととても気に入っているんだ。
僕はよくホストファミリーと一緒にその店を訪れるよ。でも、僕はそこが約50年の歴史があるとは知らなかった
な。

カズ：ええと、僕はそこに一度も行ったことがないんだ。

マイク：君は試してみるべきだよ。その牛肉は本当においしいんだ。

2

カズ：マイク、君はカンボジアからの生徒が何人か来ることを知っている？

マイク：うん。彼らは来月来て、僕たちと一緒に2週間勉強するんだよね？

カズ：その通り。彼らは2月24日に来て、午前中に歓迎会を開く予定だよ。ポスターには、それが学校紹介で始まると
書いてあるよ。

マイク：なるほど。僕は、カンボジアからの生徒たちが僕たちの学校を気に入ってくれることを願っているんだ。

カズ：僕もそう願っているよ。生徒たちは午後の授業から参加し始めるんだ。

マイク：君は、彼らが僕たちの授業に来ると思う？

カズ：わからないな。キクチ先生にそれについて聞いてみようよ。

マイク：いいよ。あつ、その日はボランティアが必要なんだ。僕たちの学校を英語で紹介してはどう？君はこの学校につい

てよく知っていて、英語をとて上手に話すよね。

カズ： わかった、僕はそれについて考えるよ。君はどう？

マイク：僕はポスターを作ることにについて考えているんだ。

カズ：君はとても上手に絵を描くので、それは良い考えだね。

マイク：ありがとう。さて、僕たちは今月末までにこのことについて先生に話をしなければならないね。

カズ： そうだね。何をすべきかを決めるときは、僕は君に話すつもりだよ。

マイク： いいよ。

3

(1)

カズへ、

日本滞在中は助けてくれてどうもありがとう。僕はそちらで君ととても楽しい時間を過ごしました。そちらでわくわくしたことのひとつは、カンボジアからの生徒たちを受け入れたことでした。僕たちは彼らのためにボランティア活動をしました。僕がポスターを作っているときに、君は僕を手伝ってくれました。どうもありがとう。君は彼らに学校を紹介するのにとても良い仕事をしました。

僕たちはカンボジアからの生徒の何人かと友だちになりましたね？君はサムを覚えていますか。僕はまだ彼からメールをもらいます。先週、僕は彼からメールをもらって、興味深いことを知りました。僕たちには姓がありますよね？君のはタナカで、僕のはホワイトです。君はカンボジアの人は姓を持っていないことを知っていますか。僕はそれを知らなかったの、そのことを聞いて驚きました。

ところで、質問があります。もし君が留学するなら、どの国に行きたいですか。それについて次のメールで僕に教えてください。

君の友だち、
マイクより

(2)

マイクへ、

メールをありがとう。僕も君ととても楽しい時間を過ごしました。そうですね、カンボジアからの生徒たちを受け入れたことはすばらしい経験でした。僕はサムをとてよく覚えています。彼はとても良い生徒です。僕はまたすぐに彼に会いたいです。

いま、僕は君の質問に答えます。

もし君がまた日本に来たら、僕は君と一緒に岩田さんの牛肉を食べたいです！

君の友だち、
カズより

③

リナとユウイチは高校生です。パットとジャックはオーストラリア出身の高校生です。彼らは放課後に、教室で話しています。

ジャック： やあ、ユウイチ。君は何をしているの？

ユウイチ：僕は水についてのスピーチの準備をしているところだよ。僕たちは今日の英語の授業で水についていくつか重要な事実を知ったんだ。

パット： そうだったの？

ユウイチ： うん。僕たちは多くのことを知ったよ。たとえば、地球の表面の約 70 パーセントは水なんだ。僕は、地球上の水の約 97 パーセントが塩水だということに驚いたよ。僕は、地球にそんなにたくさんの塩水があるとは知らなかったよ。僕たちは気楽に塩水を使うことはできないね。

リナ： 地球にはたくさんの水があるけど、私たちが使える水は限られているのね。

ジャック： 君の言う通りだね。実は、僕たちは地球のすべての水の 0.01 パーセントくらいしか気楽に使えないんだ。

ユウイチ：僕はこれらのことに興味があるので、来月の文化祭でそれらについて話すつもりなんだ。

パット： なるほど。

ジャック：ユウイチ、僕は水について他に重要は事実をいくつか知っているよ。

ユウイチ： 本当？どうか僕にそれらについて教えてよ。

ジャック： いいよ。いくつかの国では、水の問題は本当に深刻なんだ。世界の約 7 億 7 千万の人がきれいな水を使えないんだ。人びとがより多くの水を得たいと思うので、ときどき戦争が起こるんだ。

リナ： 私はそのことは信じられないわ！それを聞いて悲しいわ。あなたはどうやってそれを知ったの？

ジャック：僕はオーストラリアでそれについて知ったんだ。オーストラリアは乾燥した国なので、僕たちは学校で水について勉強するんだ。

パット： そうだよ。オーストラリアの人びとはいつも水を節約しようとするんだ。

リナ： そうなの？

パット： そうだよ。たとえば、僕の家族のメンバーはふだん 5 分以内に、すばやくシャワーを浴びるんだ。

リナ： 本当に？私はそうできないと思うわ。

ジャック： オーストラリアの僕の友だちのひとりとはよく水を使わないで髪を洗うよ。

ユウイチ：彼はどうやって水なしで髪を洗うことができるの？

ジャック：彼はドライシャンプーを使うんだ。

パット： オーストラリアの店には多くの種類のドライシャンプーがあるんだ。

ユウイチ：僕はそのことは知らなかったよ。

リナ： 私は日本のいくつかのお店でドライシャンプーを見たことがあるけど、それを以前に使ったことはないわ。

パット： 毎日、水で髪を洗うことは快適だけど、水を節約することもオーストラリアの人びとにとっては重要なんだ。

ユウイチ：なるほど。オーストラリアの人びとは水を節約するために他に何かしているの？

パット： ええと、食器を洗うときに、僕の母は決して水を出しっぱなしにしないよ。彼女はいつも洗いおけを使っているよ。彼女は洗いおけを水で満たし、それから食器を洗うんだ。

リナ：あなたのお母さんは立派ね。私はときどき家で食器を洗うけど、それらを洗うとき、いつも水を出しっぱなしにしているわ。私は日常生活において水を節約することについてもっと考えなければならないわね。

ユウイチ：同意するよ、リナ。ところで、僕のスピーチで、僕は君たちが僕に話してくれたそのことについて話すよ、ジャック、パット。

リナ： あっ、待って、ユウイチ。私はちょうど、家で水を節約する例を 1 つ思いだしたわ。

ユウイチ： 本当に？それについて僕に話して。

リナ： いいわよ。パットとジャック、あなたたちは日本人がお風呂に入ることを知っているわよね？

パット： うん。僕のホームステイ先の家族が毎日、そうしているよ。

ジャック： 僕のホームステイ先の家族と僕もだよ。僕はいま、お風呂に入るのがとても気に入っているんだ。

リナ： 私の家では、父が私たちの衣類を洗うのだけど、洗うためにいつもお風呂の水を使うの。それは水を節約するもう1つの例よね？

ジャック： そうだね！

パット： ところで、僕は、君のスピーチを通して多くの人が水を節約することに興味を持ってくれることを願っているよ、ユウイチ。

ユウイチ： 僕もそう願っているんだ。手伝ってくれてどうもありがとう、みんな。僕は良いスピーチをするよ。

ジャック： 僕は君を手伝うよ、ユウイチ。

パット： 僕も手伝うよ。

4

ミドリは高校生です。彼女はダンスが好きで、毎週日曜日に公民館のダンス教室に通っています。彼女のクラスメイトのトムもその教室に通っています。彼はアメリカ合衆国出身の生徒で、ミドリの仲の良い友だちのひとりです。

10月のある日曜日、ミドリとトムはダンス教室のあとで、公民館のベンチに座っていました。そのとき、ひとりの女性が彼らのところにやって来て、「こんにちは、ミドリさん」と言って、ミドリの隣りに座りました。その女性はヨシダさんで、彼女はミドリの家の近くに住んでいました。ミドリは「こんにちは、ヨシダさん。あなたはここで働いているのですか？」と言いました。ヨシダさんは「いいえ。私はときどき年配の人たちと話をしたり、彼らと一緒に俳句を作ったりするためにここに来るのです」と言いました。そのとき彼女は大きい声で「みなさん、こちらに来てください」と言いました。何人かの年配の人たちが彼らの方に歩いてきました。その年配の人たちのひとりであるアンドウさんがミドリとトムに「こんにちは。はじめまして。あなたたちはヨシダさんの友だちですか？」と言いました。もうひとりの年配の女性であるイシイさんが「私はときどきここであなたたちを見かけますよ」と言いました。ミドリは「はい、私たちはダンス教室に参加するために毎週日曜日に、ここに来るのです」と言いました。ミドリとトムは年配の人たちと話をして楽しみました。年配の人たちが立ち去ったあとで、トムはヨシダさんに「私は彼らと話をして楽しみました」と言いました。彼女は「そうでしたか。それは良かったです。2週間後に、彼らはまたここにやって来ますよ。また私たちに会うのはどうですか？」と言いました。ミドリとトムは「もちろんです」と言いました。

その翌日、ミドリとトムは彼らの学校でその年配の人たちについて話しました。トムは「僕は年配の人たちが楽しめる何かをしたいな。僕たちに何ができるだろうか？」と言いました。ミドリは「私に考えがあるわ。私たちのダンスを彼らに見せましょうよ」と言いました。トムは「それは良い考えだね。それなら、僕たちはもっとダンスを練習する必要があるね」と言いました。ミドリは「ええ、そうね。1週間に3回練習するのはどう？」と言いました。トムは「いいよ。そうしよう」と答えました。

その次の日曜日、ミドリとトムが練習し終えたあとで、彼は「実は、最初、僕は1週間に3回練習することが大変ではないと思ったんだ。僕はちょっと疲れているんだ。きょう、宿題がなかったら、僕は早く寝ることができるのになあ。僕は今週、忙しすぎるんだ」と言いました。ミドリは「私はわかるけど、年配の人たちにすてきなダンスを見せたいわ。あなたもそう思うでしょ？」と言いました。トムは「もちろんさ。最善を尽くすよ！」と答えました。

1週間後、ミドリとトムは公民館に行って、彼らのダンスを年配の人たちとヨシダさんに見せました。それを見ているとき、彼らはうれしそうでした。ミドリとトムがダンスを終えたあとで、ミドリはヨシダさんに「あなたは、年配の人たちが私たちのダンスを楽しんだと思いますか？」と言いました。彼女は「そうね、私はあなたたちが私たちにあなたたちのダンスを見せてくれてうれしいわ。彼らは手拍子を取ろうとしたけど、それをするのは彼らにとって難しかったですね。あなたたちはそれがわかりましたか？」と答えました。ミドリは「いいえ。私はダンスに集中していました」と答えました。トムは「僕たちは年配の人たちについてもっと知るべきですね」と言いました。ミドリは「あなたの言う通りね」と答えました。それから彼らは帰宅しました。

ミドリとトムはそのあと10月と11月に数回公民館を訪れました。そこで年配の人たちに会ったとき、ミドリとトムは彼

らについてもっと知るためによく彼らと話しました。アンドウさんが彼らに「私の息子が小さかったとき、私は彼と一緒に彼の大好きな種類のダンスをよく楽しみましたよ」と言いました。トムはイシイさんに「あなたは何をするのが好きですか？」と尋ねました。彼女は「私は歌を歌うのが好きで、ときどき孫と一緒にそれを楽しみます」と言いました。ミドリとトムは年配の人たちについてもっと知ることができてうれしく思っ、何をしたらいいかについて大いに話しました。ミドリはトムに「私は年配の人たちが参加できる何かをしたいわ」と言いました。トムは「それはいい考えだね」と言いました。

12月のある日曜日、年配の人たちとヨシダさんが公民館のイスに座っていました。トムは彼らに「手を上げて、それを振りましょう」と言いました。全員がそれをし始めました。ヨシダさんはミドリに「みんなが参加できるので、この種のダンスはすばらしいわ」と言いました。ミドリは「私はそれを聞いてうれしいです。ありがとうございます。私たちは皆さんのために私たちのダンスをより簡単にしました」と言いました。すると、イシイさんがみんなの前で歌を歌い始めました。ミドリはヨシダさんに「私たちはまたイシイさんにダンスのために歌を歌ってくれるように頼みました」と言いました。年配の人たちは手拍子を取り始めました。イシイさんはみんなに「さあ、一緒にダンスを楽しみましょう」と言いました。

数日後、学校に歩いて行くときに、ミドリはヨシダさんに会いました。ヨシダさんは「おはよう、ミドリさん。この前の日曜日はダンスをありがとう。私はイシイさんがみんなの前で歌い始めたのに驚きました。私は彼女が内気だと思っていたが、間違っていました。あなたたちのダンスのために歌を歌っていたとき、彼女はとてもうれしそうでした。みんなとても楽しい時を過ごしました。どうかまた来て、私たちにあなたたちのダンスを見せてください」と言いました。ミドリは彼女の言葉を聞いて喜びました。彼女は「私たちのダンスは人びとをうれしくさせることができるわ。そのことがまた私たちをうれしくさせるわ。いつか、私はたくさんの人をうれしくさせることができるプロのダンサーになりたいわ」と思いました。

第5回(1月) 英語学力検査リスニングテスト台本

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを8語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Hikaru: Tim, what time is it now?

Tim: It's five o'clock, Hikaru.

Hikaru: Really? I have to get home by six today.

Tim: OK. Do you know what time the next train will come?

Hikaru: Yes. The next one will come at five twenty. It takes fifteen minutes to walk to the station from this library, right? I think we can catch the train.

Tim: Then, we should leave here now. Let's go! (3秒の間)

Question: Which train will Hikaru and Tim catch? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Jun: Hi, Becky. Do you have time today? Let's go to see a movie.

Becky: Hi, Jun. Well, I'm busy today. I will clean my room in the morning. After that, I have to do my homework.

Jun: I see. How about tomorrow?

Becky: I'm free tomorrow. Oh, I just remembered. I'm going to visit the museum with Yukari. So I can't go with you.

Jun: Then, how about next weekend?

Becky: I'm free on Saturday. Let's go that day. (3秒の間)

Question: What will Becky do tomorrow? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Ellie: Takuya, you went to Australia last winter, right?

Takuya: Yes, Ellie. I have a picture here. Please look.

Ellie: Thank you. Are these people your family?

Takuya: Yes. They are my father, mother, brother, and me. My sister is not in the picture because she took it.

Ellie: I see. How was your trip?

Takuya: It was great. It was summer in Australia, so my brother and I enjoyed swimming in the sea. (3秒の間)

Question: Who took the picture of Takuya's family in Australia?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、女子高校生の Yumi が、英語の授業で行ったスピーチです。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを8語の英語で書きなさい。なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Hello, everyone. I'm Yumi. When I was little, I didn't like cabbage. I never ate any dish which had cabbage in it. My mother really wanted me to eat cabbage. One day, she got an idea. She made curry and rice. It was one of my favorite foods, so I ate it. After I finished eating it, she said to me, "Did you like today's curry and rice?" I said to her, "Yes, it was very good." Then she said, "I'm glad to hear that. Actually, I put some cabbage in it." I was surprised and thought, "I ate cabbage. I can't believe it." I became interested in cooking, and I started cooking with my mother. I was ten then.

Now I am fifteen and I cook breakfast and dinner with my mother almost every day. In the future, I want to cook food with my children. (3秒の間)

Question 1: How long has Yumi been cooking? (5秒の間)

Question 2: What does Yumi want to do in the future? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。